SONY®

サービスガイド

1979年6月 発売

ジェットセンサー プラストリニトロン

カラーテレビ

KV-16SX1

参考：調整マニュアル(2)

αシャーシ

シャーシ番号：SCC-229A-A

本機の概要

1．プラストリニトロン管採用により高輝度，高画質。
2．エコノクイック管採用(ヒーターはパルス点火)。
3．ＣＦＤ(コンバーゼンス・フリー・偏向ヨーク)採用。
4．音声多重受信装置内蔵
（放送信号に合わせて多重・モノラルを自動的に識別する自動切換え機構付。）
5．VIF回路にヘリカルフィルターを採用。
6．ワンパックチューナー(UHFチューナーとVHF チューナーを一体化)の採用。
7．不揮発性メモリーICの採用により，チャンネルの記憶が可能。
8．自動選局機構付。
9．スペースホニック(奥行や広がりのある音が得られる)回路付。
10．オーディオ出力，ヘッドホン出力端子付。
11．音声ライン入力(VTR)端子と(音声)VTR オートスイチ付。
（SL-J7で録画した音声多重番組をステレオまたは二ヵ国語の音声で再生できます。）
12．別売のリモコンユニット(OPK-55R)，リモコンプログラムタイマーユニット(OPK-55RT)の使用が可能。

【外観写真】

概　略　仕　様

ブラウン管	400EDB22(16-90-96) 16型90度偏向トリニトロン方式 シリンドリカル角形フェイス(エコノクイック)
画面の大きさ	幅30.5×高さ23.0，対角線径37.2(cm)
使用半導体	IC，FET，トランジスター，ダイオード
アンテナ方式	外部アンテナ端子 VHF 75Ω(不平衡形) UHF 300Ω(平衡形)
音声部	出力7W(3.5W+3.5W) 高音用スピーカー 5cm 8Ω 2個 低音用スピーカー 10×16cm 8Ω 2個
自動調整回路	のこぎり波AFC，高速尖頭値型AGC バーストピーク検波ACC，バースト位相検波 カラーキラー
電　源	AC 100V 50/60Hz
消費電力	85W
高　圧	23.5kV(ブラウン管カットオフ時)
音声入力端子	音声ライン入力(VTR)(ピンジャック) …… 2 最小入力レベル 150mV(−14.5dB) 入力インピーダンス 3.9kΩ
音声出力端子	オーディオ出力(ミニジャック) …… 2 周波数特性 20Hz〜15kHz $^{+0}_{-3}$dB 出力レベル 0.5Vrms 固定(1kHz 100%変調時) 出力インピーダンス 5kΩ イヤホン(ミニジャック) …… 2 8Ωイヤホン用 ヘッドホン(ステレオ標準ジャック) …… 1 負荷インピーダンス 8Ω以上
大きさ	幅63.1×高さ47.4×奥行46.0(cm)
重　さ	25.5kg
おもな付属品	イヤホン(ME-20B) …… 1 アンテナコネクター(EAC-25) … 1 〃 (EAC-29) … 1 チャンネルラベル …… 1組 チャンネル合わせ早わかりカード…1

本機の仕様は，性能向上のため変更する場合があります。

【⇐マークについて】

裏カバーやシャーシの各ブロックは⇐マークで示されたねじを外すと取外せます。

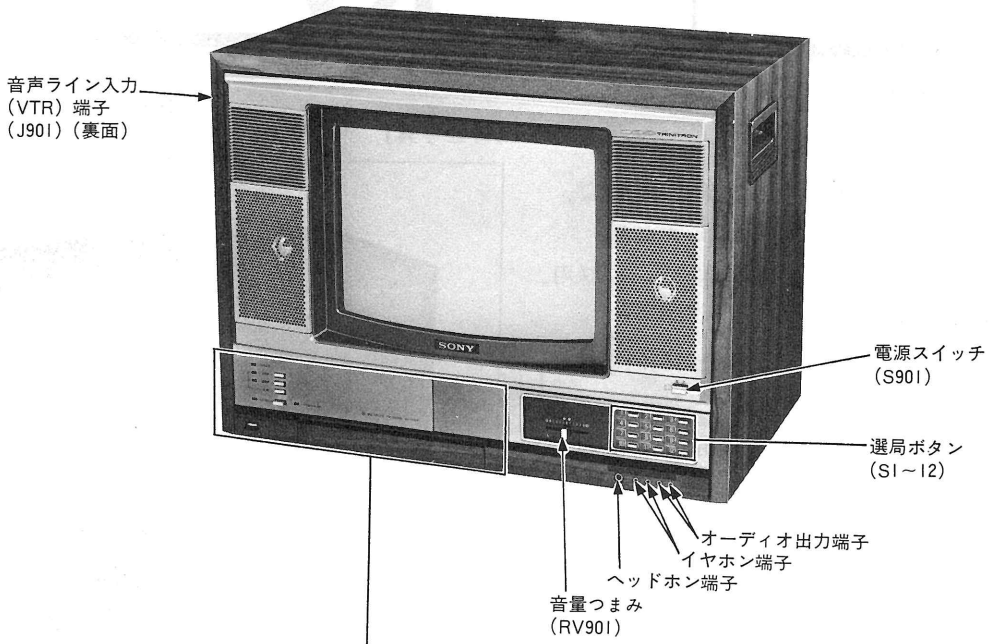
注　　意

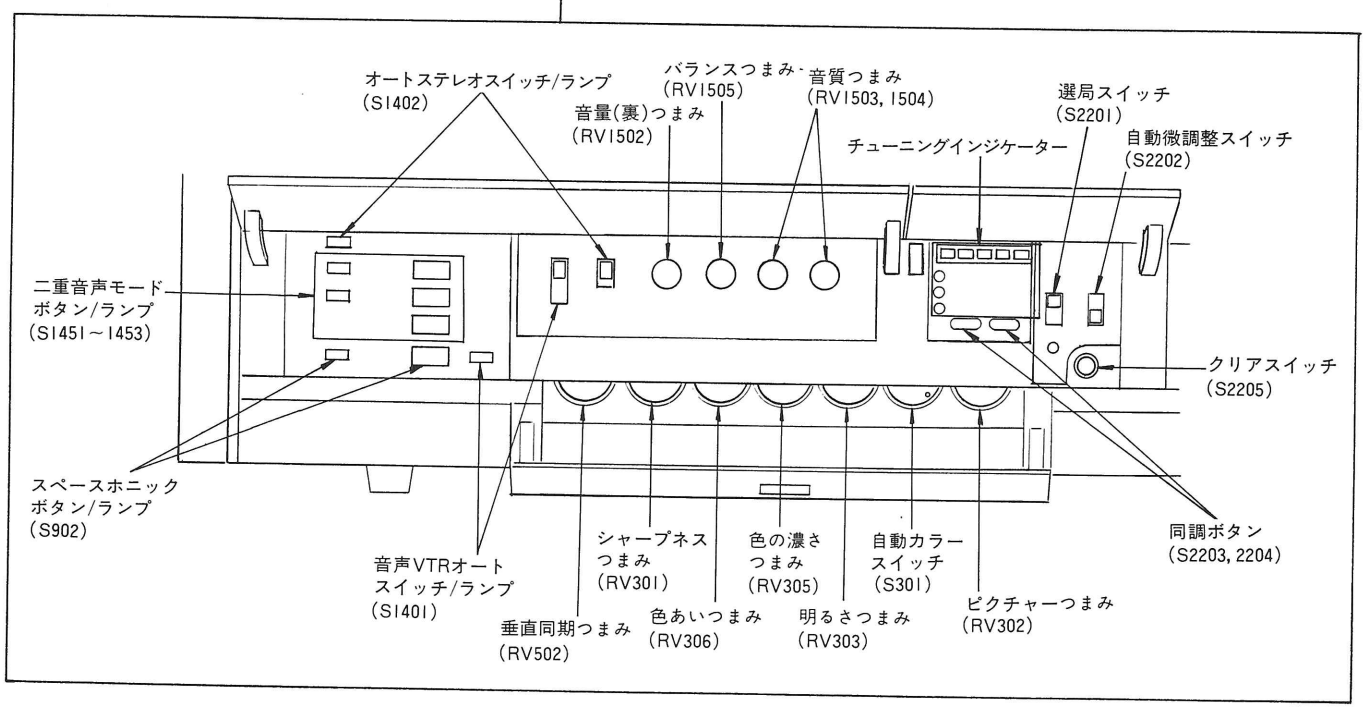
本機は，トランスレス・ブリッジ整流方式を採用しています。このため，シャーシに触れると電撃を受けることがあります。

安全・性能維持のため，必ず指定の部品をご使用下さい。

CTV

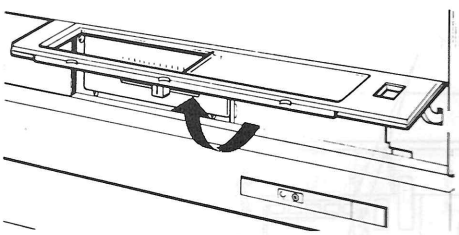
【外観名称】


音声ライン入力
(VTR) 端子
(J901) (裏面)
電源スイッチ
(S901)
選局ボタン
(S1～12)
オーディオ出力端子
イヤホン端子
ヘッドホン端子
音量つまみ
(RV901)

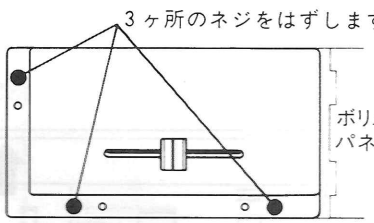

オートステレオスイッチ/ランプ
(S1402)
バランスつまみ
(RV1505)
音質つまみ
(RV1503, 1504)
音量(裏)つまみ
(RV1502)
選局スイッチ
(S2201)
チューニングインジケーター
自動微調整スイッチ
(S2202)
二重音声モード
ボタン/ランプ
(S1451～1453)
クリアスイッチ
(S2205)
スペースホニック
ボタン/ランプ
(S902)
同調ボタン
(S2203, 2204)
音声VTRオート
スイッチ/ランプ
(S1401)
シャープネス
つまみ
(RV301)
色の濃さ
つまみ
(RV305)
自動カラー
スイッチ
(S301)
垂直同期つまみ
(RV502)
色あいつまみ
(RV306)
明るさつまみ
(RV303)
ピクチャーつまみ
(RV302)

【別売アクセサリー OPK-55R/55RTの取付け方法】

❶取付け部の扉を上げる

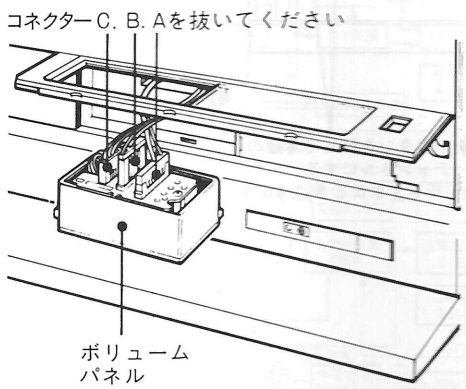


❷ボリュームパネルの取付けねじを外す



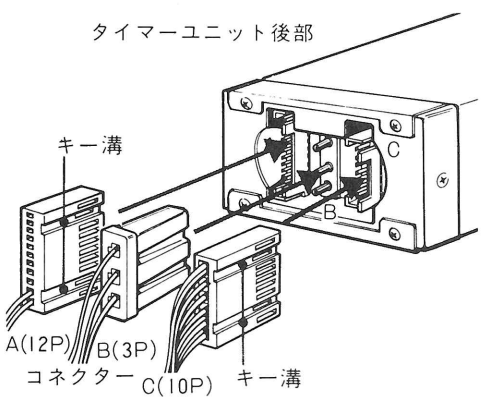
はずしたネジはタイマーユニットの
取り付けに使用します。

❸ボリュームパネルのコネクターを抜く



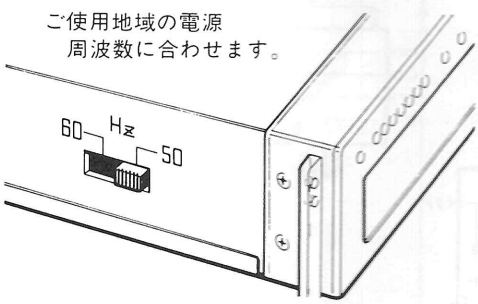
❹タイマーユニットにコネクターを挿入

キー溝、ピン間隔に注意して
コネクターA.B.Cをプラグ
A・B・Cに正しく差し込みます。



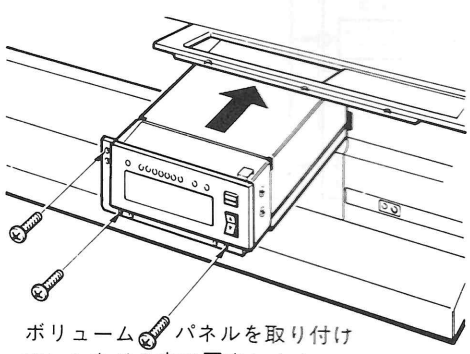
❺電源周波数スイッチ切換（OPK-55RTのみ）

ご使用地域の電源
周波数に合わせます。

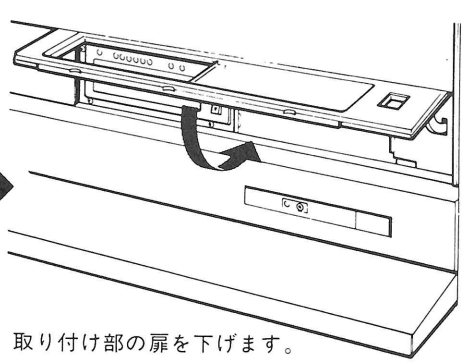


❼基本回路図用ポリ袋に入れ保管する。

❻テレビに取付け



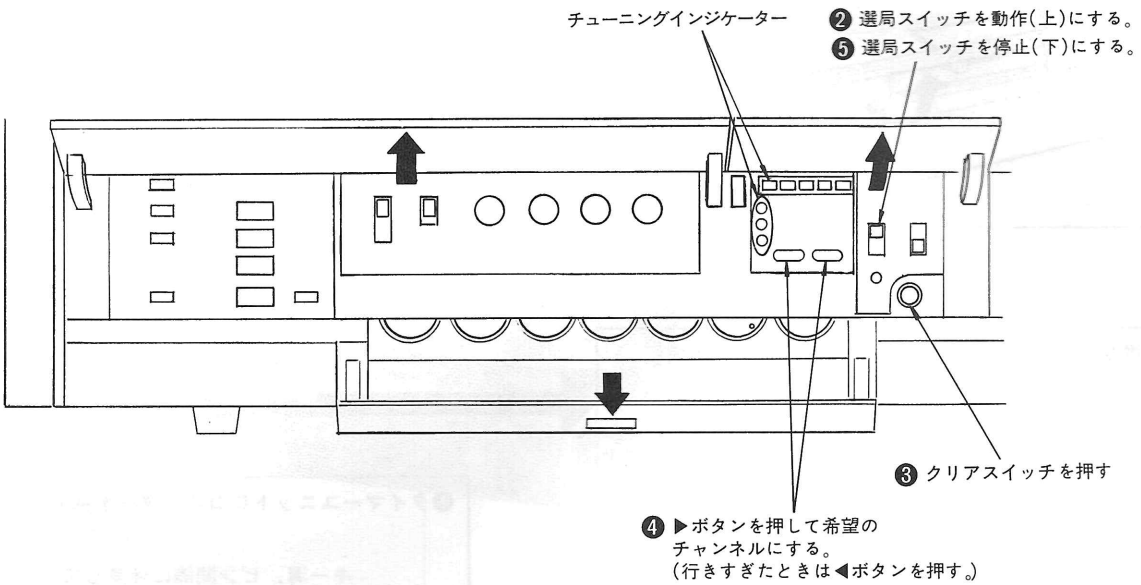
ボリューム パネルを取り付け
ていたネジ3本で固定します。



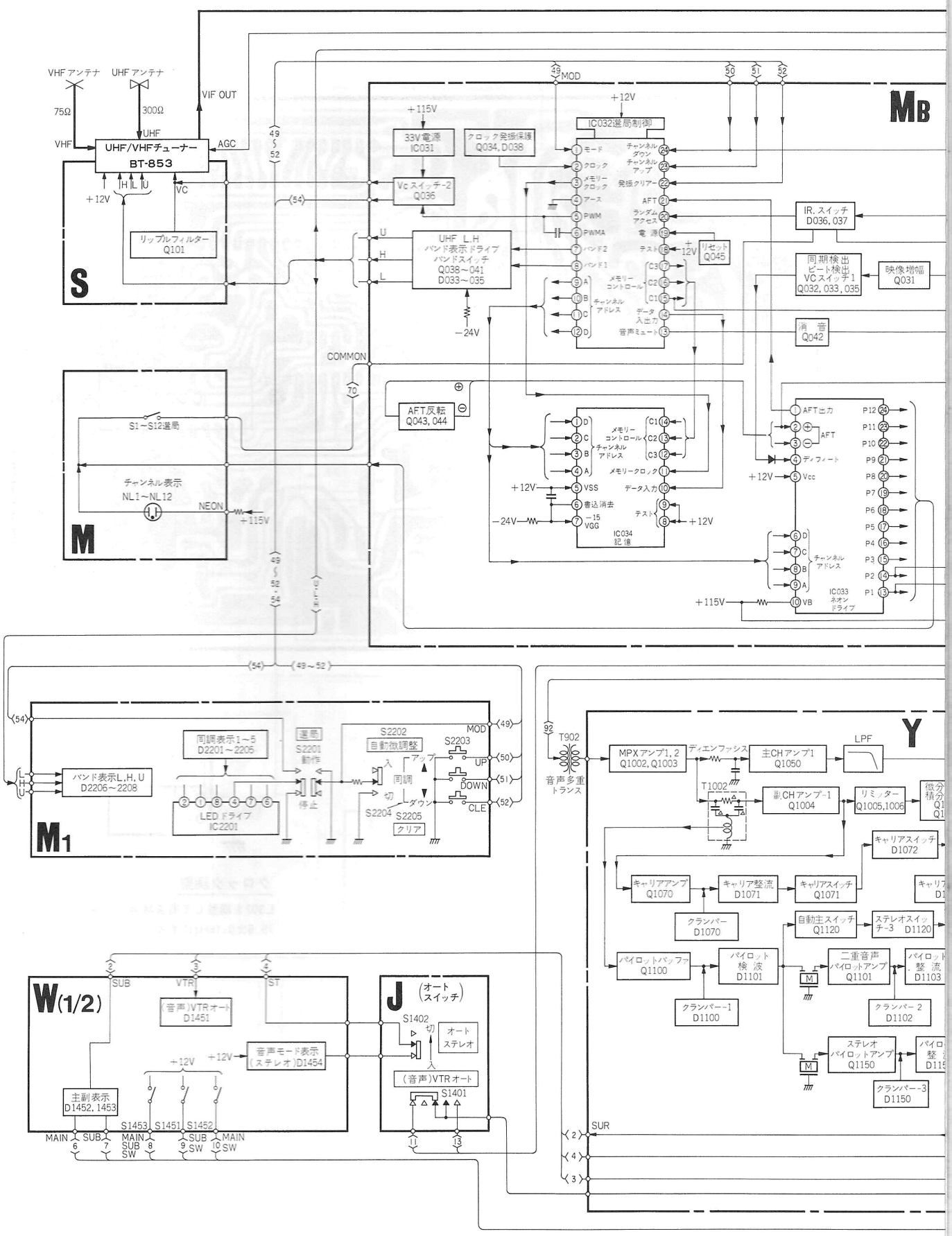
取り付け部の扉を下げます。

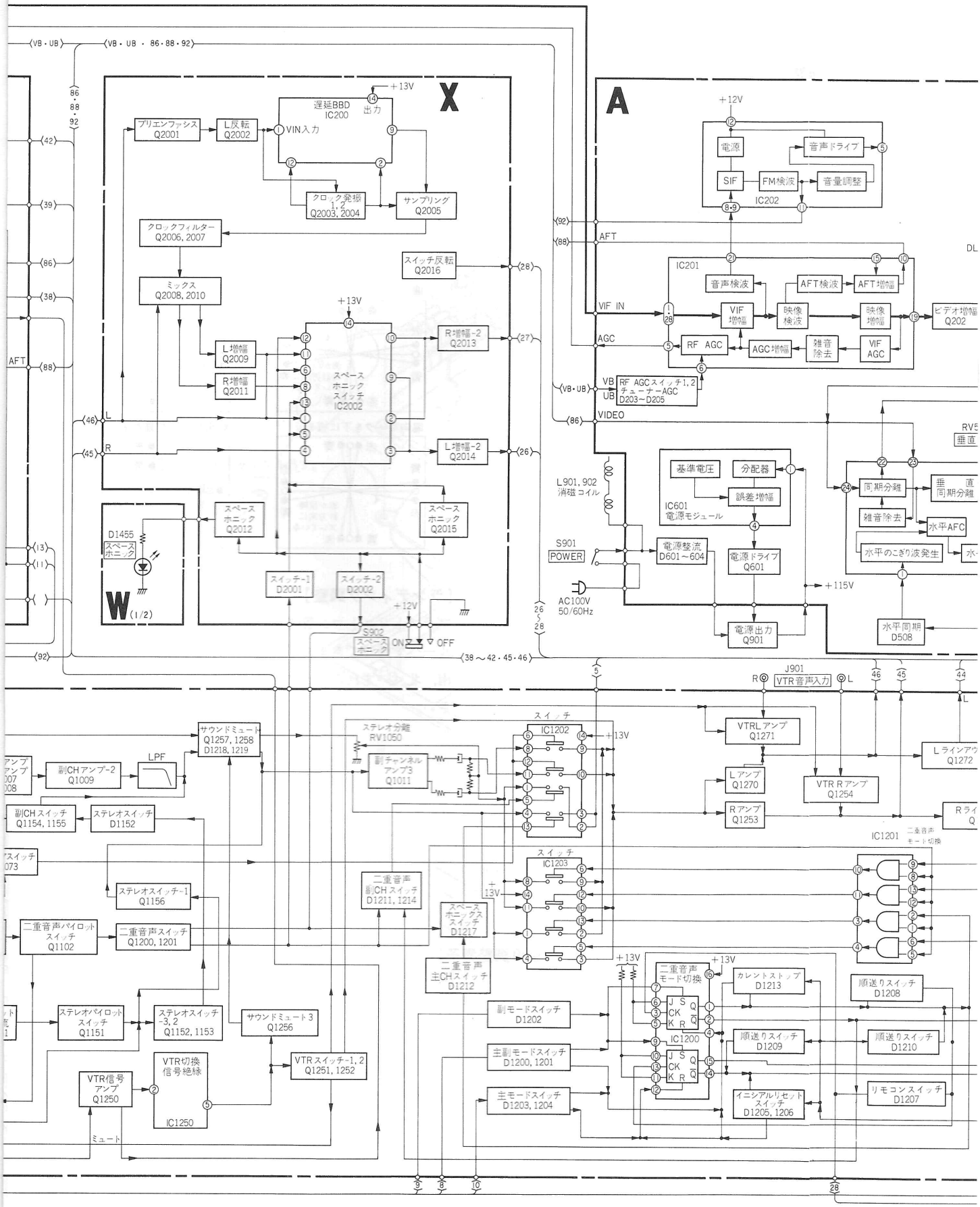
【チャンネルプリセットの手順】

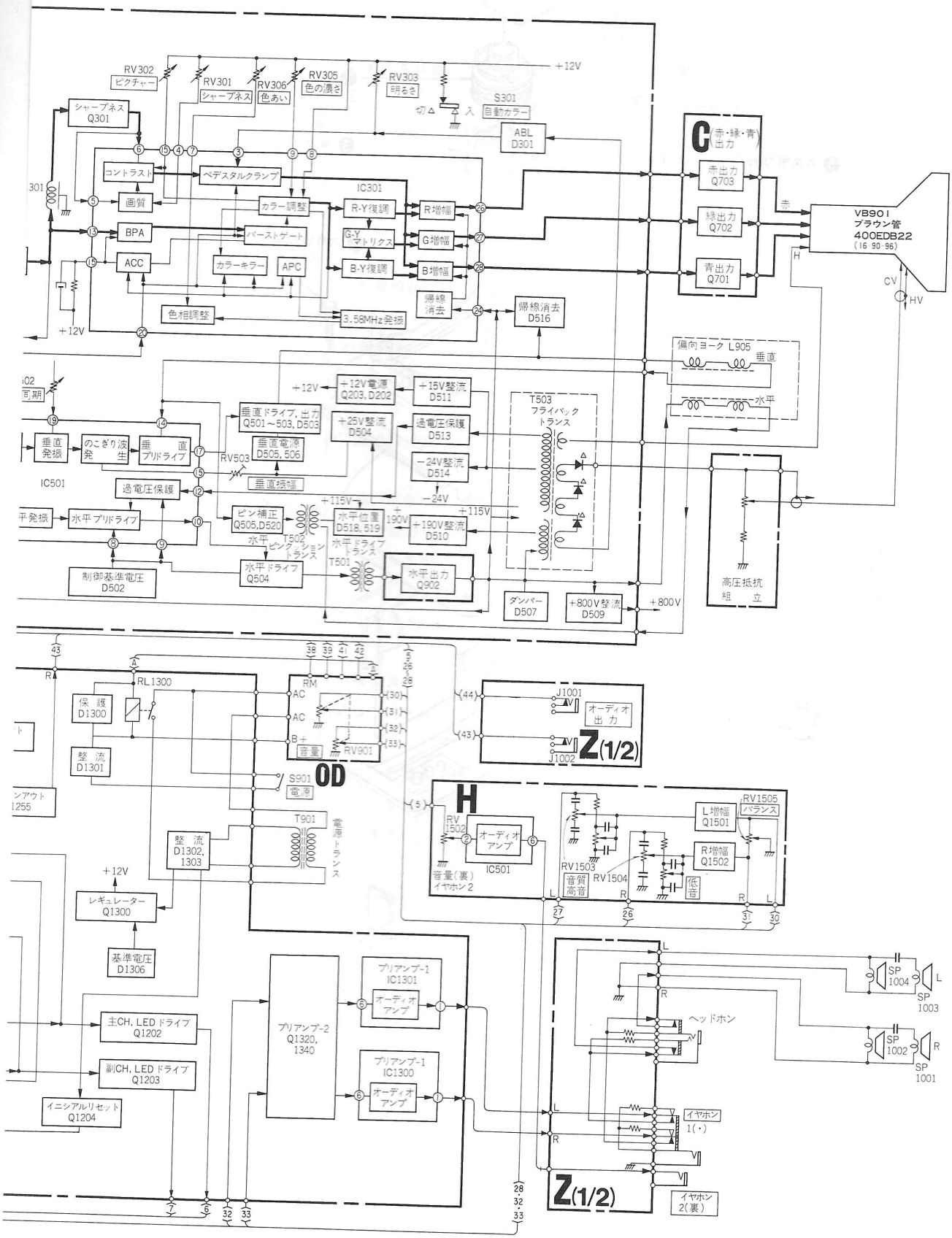
❶ 選局ボタンを押す。



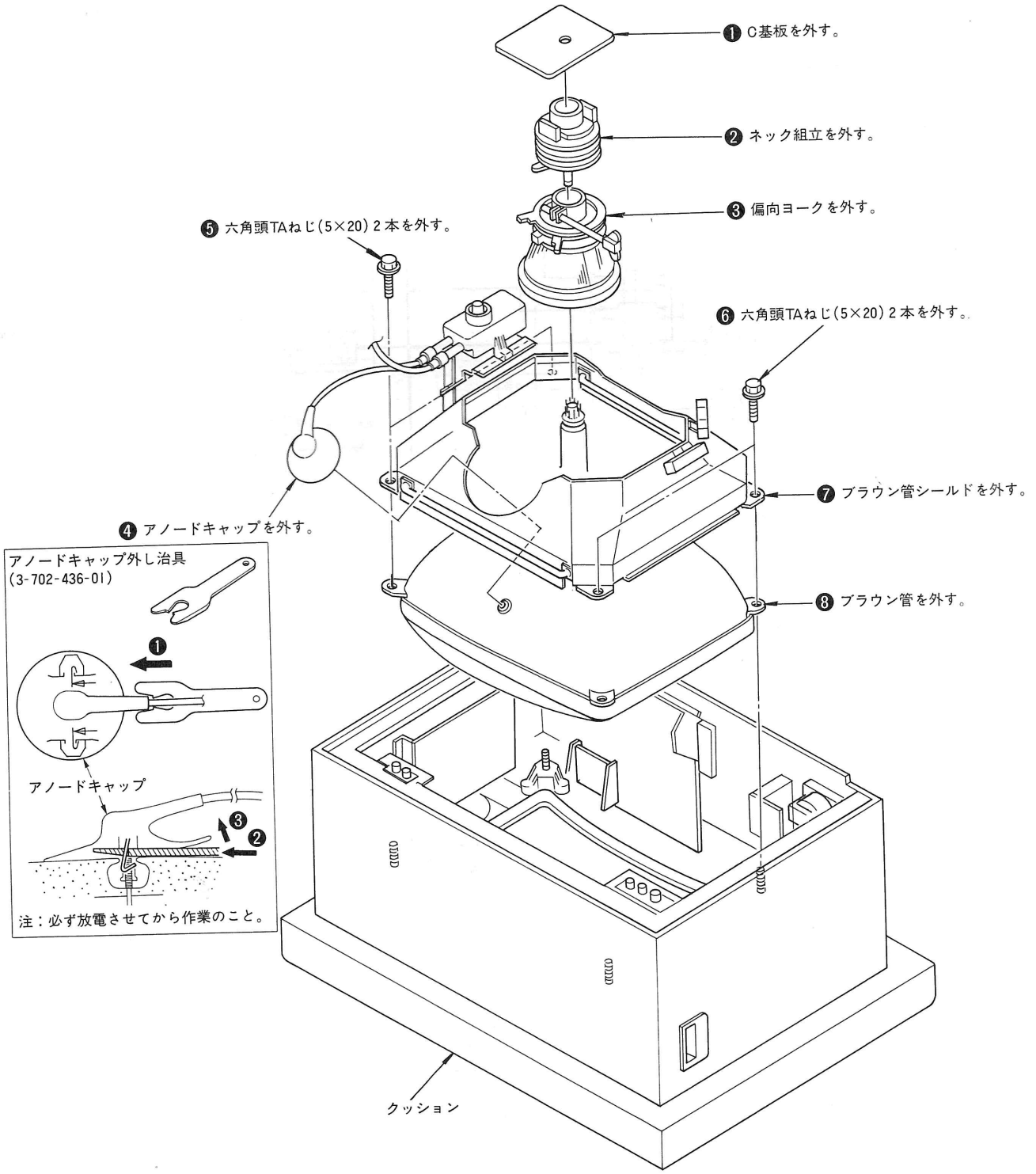
【ブロックダイヤグラム】


VHF アンテナ
UHF アンテナ
75Ω
300Ω
VIF OUT
VHF
UHF
UHF/VHFチューナー
BT-853
AGC
H L U
VC
+12V
リップルフィルター
Q101
S
MB
MOD
+115V
33V電源
IC031
クロック発振保護
Q034, D038
IC032選局制御
Vc スイッチ-2
Q036
UHF L,H
バンド表示 ドライブ
バンドスイッチ
Q038～041
D033～035
−24V
COMMON
IR スイッチ
D036, 037
同期検出
ビート検出
VCスイッチ1
Q032, 033, 035
映像増幅
Q031
リセット
Q045
消音
Q042
AFT反転
Q043, 044
メモリーコントロール
チャンネルアドレス
データ入出力
メモリークロック
データ入力
書込 消去
IC034
記憶
AFT出力
AFT
ディフィート
Vcc
VSS
VGG
VB
IC033
ポオン
ドライブ
M
S1～S12選局
チャンネル表示
NL1～NL12
NEON
M1
同調表示1～5
D2201～2206
選局
S2201
動作
S2202
自動微調整
S2203
アップ
ダウン
UP
DOWN
CLE
S2204
S2205
クリア
バンド表示L,H,U
D2206～2208
LED ドライブ
IC2201
停止
同調
T902
音声多重
トランス
Y
MPXアンプ1, 2
Q1002, Q1003
ディエンファシス
主CHアンプ1
Q1050
LPF
副CHアンプ-1
Q1004
リミッター
Q1005,1006
キャリアスイッチ
D1072
キャリアアンプ
Q1070
キャリア整流
D1071
キャリアスイッチ
Q1071
クランパー
D1070
自動主スイッチ
Q1120
ステレオスイッチ-3
D1120
パイロットバッファ
Q1100
パイロット
検波
D1101
二重音声
パイロットアンプ
Q1101
パイロット
整流
D1103
クランパー-1
D1100
クランパー-2
D1102
ステレオ
パイロットアンプ
Q1150
クランパー-3
D1150
SUR
W(1/2)
SUB
VTR
ST
(音声)VTRオート
D1451
音声モード表示
(ステレオ)D1454
主副表示
D1452, 1453
S1453
S1451
S1452
MAIN
SUB
MAIN SUB SW
SUB SW
MAIN SW
J
(オート スイッチ)
S1402
オート
ステレオ
(音声)VTRオート
S1401


X
A
W (1/2)
+13V
+12V
+115V
遅延BBD IC200
VIN入力
出力
プリエンファシス Q2001
L反転 Q2002
クロック発振 1, 2 Q2003, 2004
サンプリング Q2005
クロックフィルター Q2006, 2007
ミックス Q2008, 2010
スイッチ反転 Q2016
L増幅 Q2009
R増幅 Q2011
R増幅-2 Q2013
L増幅-2 Q2014
スペースホニックスイッチ IC2002
スペースホニック Q2012
スペースホニック Q2015
D1455 スペースホニック
スイッチ-1 D2001
スイッチ-2 D2002
S902 スペースホニック
ON
OFF
電源
音声ドライブ
SIF
FM検波
音量調整
IC202
AFT
IC201
音声検波
AFT検波
AFT増幅
VIF IN
VIF増幅
映像検波
映像増幅
ビデオ増幅 Q202
AGC
RF AGC
AGC増幅
雑音除去
VIF AGC
VB
UB
RF AGCスイッチ1, 2 チューナーAGC D203～D205
VIDEO
L901, 902 消磁コイル
基準電圧
分配器
誤差増幅
IC601 電源モジュール
S901 POWER
電源整流 D601～604
電源ドライブ Q601
AC100V 50/60Hz
電源出力 Q901
同期分離
垂直同期分離
雑音除去
水平AFC
水平のこぎり波発生
水平同期 D508
J901 VTR音声入力
R
L
VTRLアンプ Q1271
Lアンプ Q1270
Rアンプ Q1253
VTR Rアンプ Q1254
Lラインアウ Q1272
サウンドミュート Q1257, 1258 D1218, 1219
ステレオ分離 RV1050
副チャンネルアンプ3 Q1011
スイッチ IC1202
スイッチ IC1203
副CHアンプ-2 Q1009
LPF
副CHスイッチ Q1154, 1155
ステレオスイッチ D1152
ステレオスイッチ-1 Q1156
二重音声パイロットスイッチ Q1102
二重音声スイッチ Q1200, 1201
二重音声副CHスイッチ D1211, 1214
スペースホニックスイッチ D1217
二重音声主CHスイッチ D1212
IC1201 二重音声モード切換
二重音声モード切換
IC1200
カレントストップ D1213
順送りスイッチ D1208
順送りスイッチ D1209
順送りスイッチ D1210
副モードスイッチ D1202
主副モードスイッチ D1200, 1201
主モードスイッチ D1203, 1204
イニシアルリセットスイッチ D1205, 1206
リモコンスイッチ D1207
ステレオパイロットスイッチ Q1151
ステレオスイッチ -3, 2 Q1152, 1153
サウンドミュート 3 Q1256
VTRスイッチ-1, 2 Q1251, 1252
VTR信号アンプ Q1250
VTR切換信号絶縁
IC1250
ミュート


RV302 ピクチャー
RV301 シャープネス
RV306 色あい
RV305 色の濃さ
RV303 明るさ
+12V
S301 自動カラー
ABL D301
シャープネス Q301
コントラスト
ペデスタルクランプ
画質
カラー調整
IC301
R-Y復調
R増幅
BPA
バーストゲート
G-Y マトリクス
G増幅
ACC
カラーキラー
APC
B-Y復調
B増幅
帰線消去
帰線消去 D516
色相調整
3.58MHz発振
C 赤・緑・青 出力
赤出力 Q703
緑出力 Q702
青出力 Q701
VB901 ブラウン管 400EDB22 (16-90-96)
偏向ヨーク L905
垂直
水平
+12V電源 Q203, D202
+15V整流 D511
垂直ドライブ, 出力 Q501～503, D503
+25V整流 D504
過電圧保護 D513
T503 フライバック トランス
垂直発振
のこぎり波発生
垂直プリドライブ
垂直電源 D505, 506
RV503
垂直振幅
−24V整流 D514
IC501
過電圧保護
−24V
+115V
水平発振
水平プリドライブ
ピン補正 Q505, D520
水平位置 D518, 519
+190V整流 D510
水平ドライブトランス
T502 ピンクッション トランス
T501
水平ドライブ Q504
水平出力 Q902
制御基準電圧 D502
ダンパー D507
+800V整流 D509
+800V
高圧抵抗 組立
RL1300
保護 D1300
整流 D1301
RM
AC
B+
音量
RV901
S901 電源
OD
T901 電源トランス
整流 D1302, 1303
J1001
J1002
オーディオ出力
Z(1/2)
H
RV1502
オーディオアンプ
音量(裏) イヤホン2
IC501
RV1505 バランス
L増幅 Q1501
R増幅 Q1502
RV1503 音質 高音
RV1504 低音
+12V
レギュレーター Q1300
基準電圧 D1306
主CH, LEDドライブ Q1202
副CH, LEDドライブ Q1203
イニシアルリセット Q1204
プリアンプ-2 Q1320, 1340
プリアンプ-1 IC1301
オーディオアンプ
プリアンプ-1 IC1300
オーディオアンプ
SP 1004
SP 1003
SP 1002
SP 1001
ヘッドホン
イヤホン 1(・)
イヤホン 2(裏)
Z(1/2)

【ブラウン管の外し方】


❶ C基板を外す。
❷ ネック組立を外す。
❸ 偏向ヨークを外す。
❺ 六角頭TAねじ(5×20) 2本を外す。
❻ 六角頭TAねじ(5×20) 2本を外す。
❼ ブラウン管シールドを外す。
❹ アノードキャップを外す。
❽ ブラウン管を外す。
アノードキャップ外し治具
(3-702-436-01)
❶
アノードキャップ
❸
❷
注：必ず放電させてから作業のこと。
クッション

基 礎 調 整

次の調整以外は，別冊のカラーテレビジョン調整マニュアル(2)をご覧下さい。

【フォーカス調整】

1．放送を受信する。
2．ピクチャー，明るさつまみで画面最適状態にセットする。
3．水平，垂直共同期を完全にとる。
4．画面全面のフォーカスが最良となるようにC基板のRV707で調整する。

【ホワイトバランス調整】

準 備

1．自動カラースイッチ(S301)を切にする。
2．放送を受信し，色の濃さつまみを**反時計方向一杯**に回して，白黒画面にする。

1）カットオフ近くでのホワイトバランス

①各ドライブボリューム(RV702,704) を時計方向一杯に回す。
②各カットオフボリューム(RV701,703,705) をメカニカルセンターにセットする。
③明るさ，ピクチャーつまみを反時計方向一杯に回す。
④スクリーンボリューム(RV706)を時計方向に回して，最初に赤，緑，青いずれかのラスターがかすかに光り始める位置にセットする。
⑤最初に光り始めた色以外のカットオフボリュームを回し，ホワイトバランスをとる。

2）ホワイトピークでのホワイトバランス

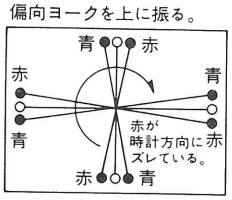
①明るさ，ピクチャーつまみを時計方向一杯に回してホワイトバランスを確認する。
②ホワイトバランスがとれない場合，たとえば青が強い場合は，青ドライブボリュームを暗くなる方向に回してホワイトバランスをとる。他の色が強い場合も，同様に行う。
カットオフ近くとホワイトピークでのホワイトバランスが，とれない時は，2～3回調整を繰返す。

【コンバーゼンス調整】

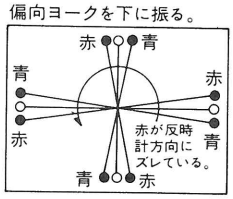
本機は，コンバーゼンス・フリー偏向ヨーク(CFD)を採用しているため，動コンバーゼンス調整のみ不要です。コンバーゼンス調整としては，偏向ヨークの首振りによって，クロスミスコンと水平及び垂直のTILT調整を次のように行って下さい。
いずれも図のようなミスコンバーゼンスがあるときに行います。

(1)クロスミスコン

偏向ヨークを上に振る。

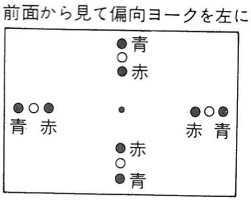


偏向ヨークを下に振る。

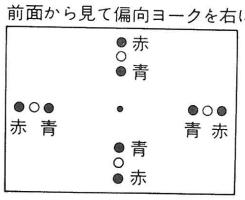


(2)水平TILTと垂直TILT

前面から見て偏向ヨークを左に振る。



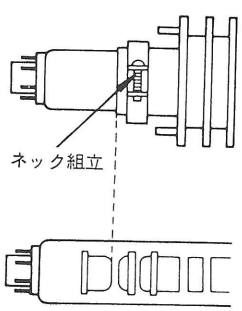
前面から見て偏向ヨークを右に振る。



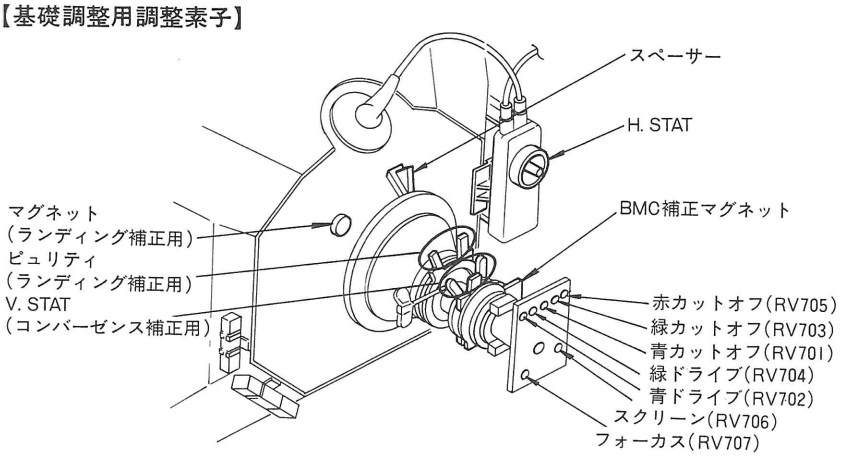
【ランディング調整】

プラストリニトロン管のため，ランディングのアローアンスをルーペで確認できません。最終確認として必ずセットを東，西，南，北，いずれの方向に向けても色むらの無いことを確めて下さい。

【ネック組立の取付位置】

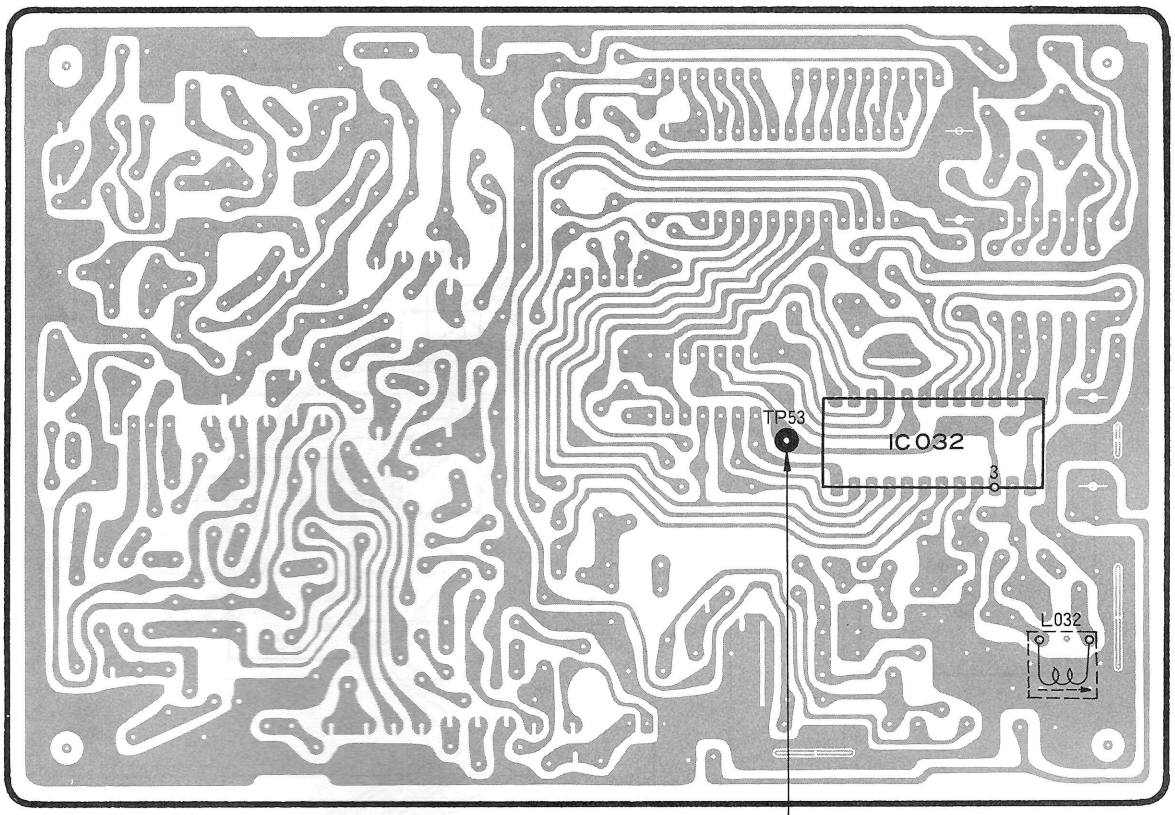


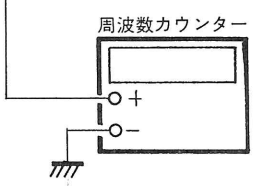
【基礎調整用調整素子】



電 気 調 整

【MB基板】





クロック調整

L302を調整して周波数カウンターの読みを15.6±0.1kHzにする。

【A基板】

- V AGC調整(RV201)
- U AGC調整(RV202)
- 水平位置調整
- 垂直位置調整
- 垂直振幅調整(RV503)
- 水平振幅調整(L503)

カラーテレビジョン調整マニュアル(2)を参照して下さい。

R597の確認

以下の部品を交換した場合には必ずこの確認を行って下さい。

IC501, D502, C513, R510, R532, R561, R597, R598
(回路図上に◪マークで指示)

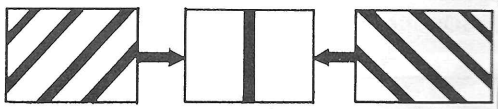
1．ピクチャー，明るさつまみを最大にする。
2．115Vラインに直流安定化電源(A)より，DC 136Vを加え画面
(注：画
3．ピクチ
4．115Vラ
ことを
5．1～4
認し直

色同期調整

1）パターンジェネレーターによりカラーバーを受像する
2）スイッチとボリュームを下記のようにセッティングする
　自動カラースイッチ……入
　色あい……
　色の濃さ……　メカニカルセンター
　ピクチャー……時計方向一杯
3）IC301の⑱ピンと①ピン(＋12V)間に，27kΩを接続する
4）D301のカソード側と①ピンの間に10kΩを接続する
5）IC301の⑯，⑰ピンをショートする
6）画面を見ながらCV301を回して画面の色じまが止まるように調整する

水平同期調整

1）放送を受信する
2）ピクチャー，明るさ，垂直同期つまみを回して画面を最適状態にする
3）IC501の㉔ピンをジャンパー線でアースに落とす
4）RV501を回し，画面の流れを下図中央のように調整する

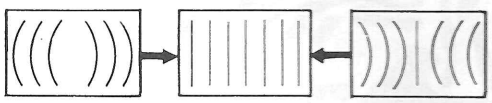


(f₀≒15,734Hz)

5）ジャンパー線を外す
6）チャンネルを切換えて画面が乱れないか確認する

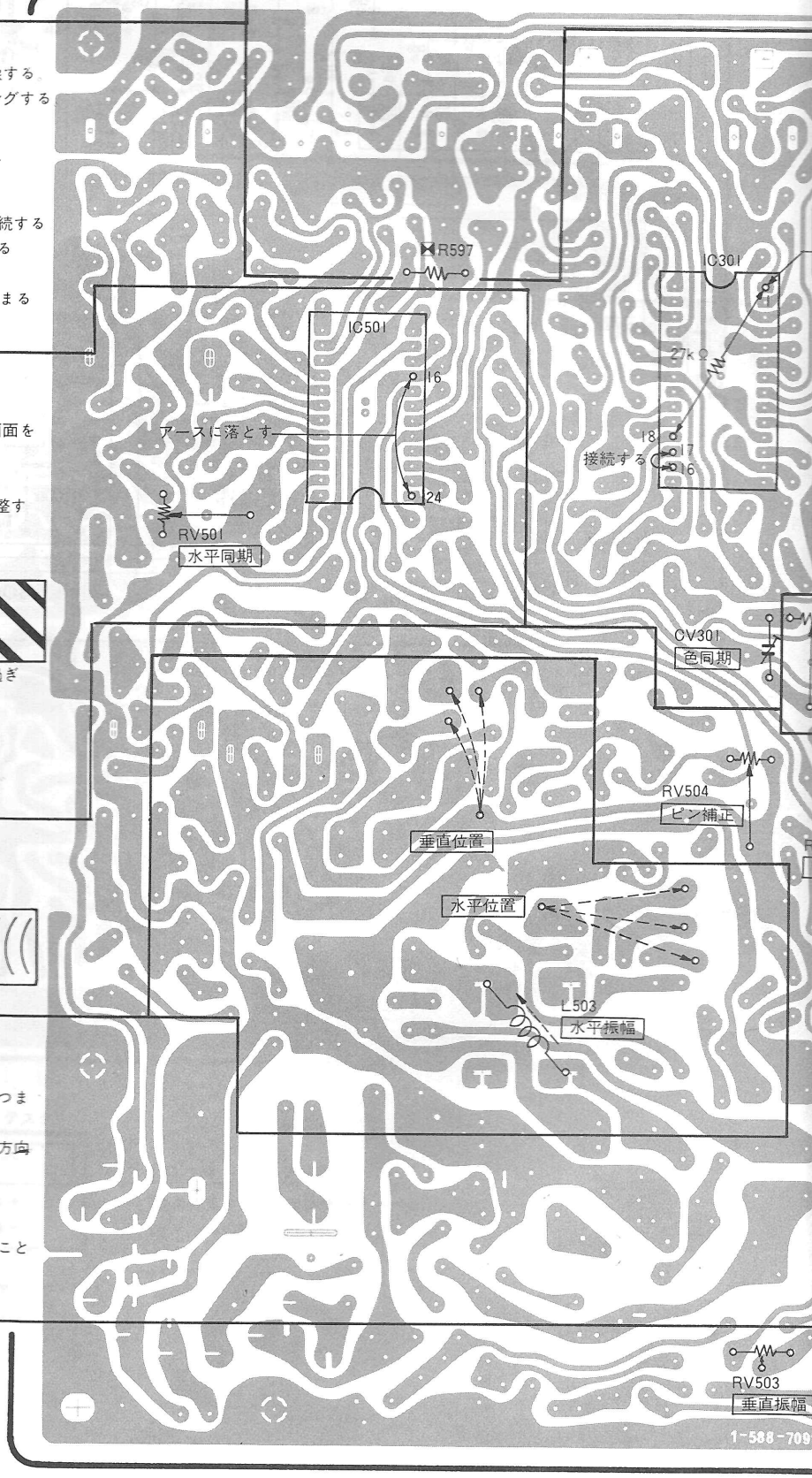
ピン補正調整

RV504を回し中央の図のようにする



明るさ補正調整

1）放送を受信する
2）ピクチャーつまみを反時計方向一杯にし，明るさつまみを画面最適状態にする
3）自動カラースイッチを「切」，色の濃さつまみを右方向一杯にして白黒画面にする
4）RV304を回し，適当な明るさになるようにする
5）ピクチャーつまみを画面最適状態にする
6）各チャンネルを受信して極端な明るさにならないことを確認する



直流安定化電源(A

消えることを確認する。
が消えたらセットの電源を切って下さい。)
明るさつまみを最小にする。
DC 120Vを加えて画面と音が消えない
る。
できない場合には，R595の定数を選び確

コントラスト補正調整

1）放送を受信する
2）ピクチャー，明るさつまみを画面最適状態にする
3）自動カラーを「切」，色の濃さつまみを反時計方向一杯にして白黒画面にする
4）RV308を回し，最適のコントラストになるようにする
5）各チャンネルを受信して，極端なコントラストにならないことを確認する

AFT調整

1）放送を受信する
2）自動微調整スイッチS2201を「切」にする
3）選局スイッチS2205を停止してから，チャンネルアップスイッチS2204を押してチューニングをずらし，920kHzのビートを出す。
4）次にチャンネルダウンスイッチS2203を押してビートが消える瞬間にセットする
5）自動微調整スイッチを「入」にする
6）920kHzのビードが消えるようにT205をセットする

確認
1）自動微調整スイッチを「切」にする
2）チャンネルアップスイッチおよびチャンネルダウンスイッチを押して，チューニングをずらし，自動微調整スイッチを「入」にしたとき，AFTが引込むことを確認する
調整確認後は，自動微調整スイッチを「入」にしてチャンネルアップまたは，チャンネルダウンボタンを1回必ず押すこと

カラーレベル調整

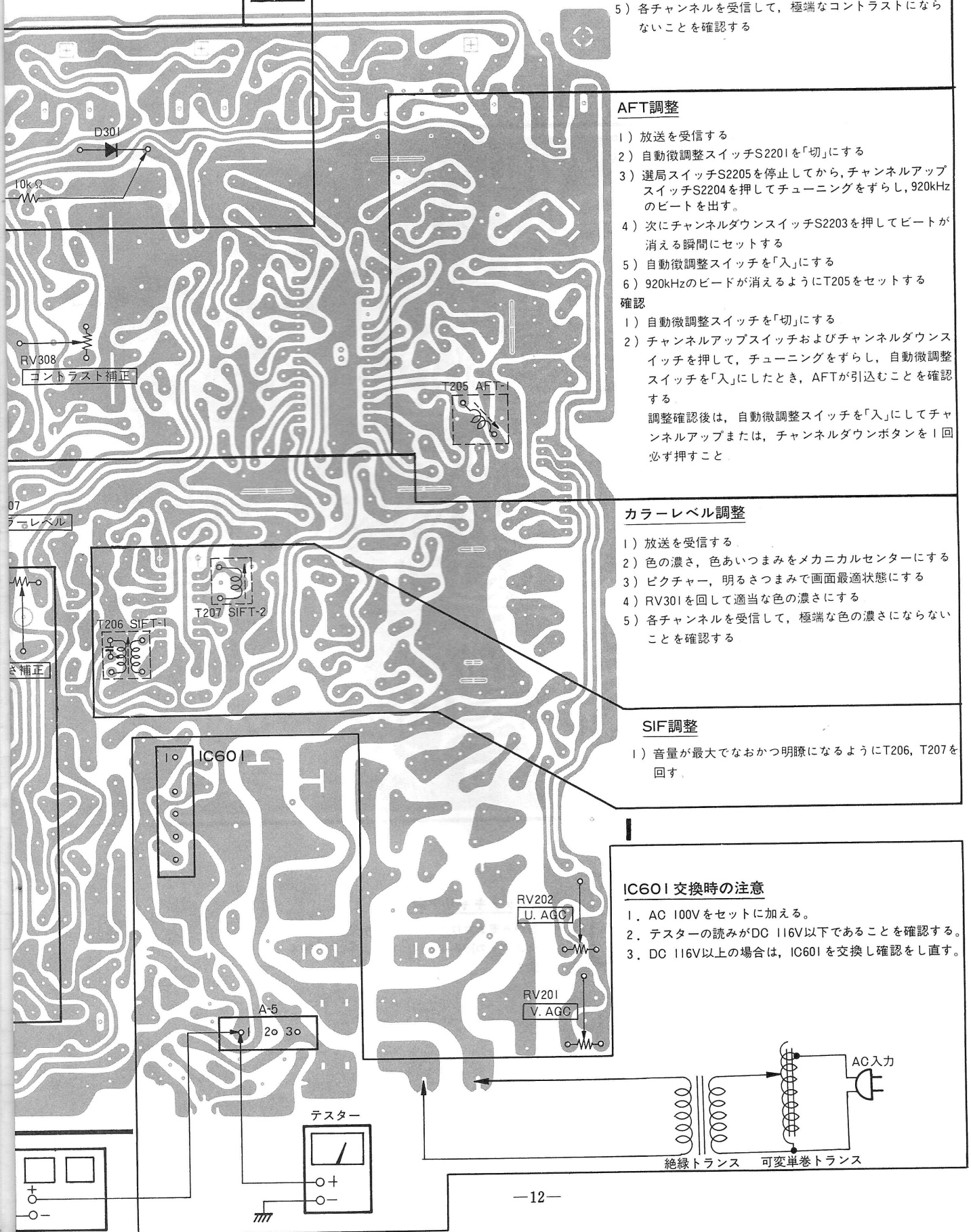
1）放送を受信する
2）色の濃さ，色あいつまみをメカニカルセンターにする
3）ピクチャー，明るさつまみで画面最適状態にする
4）RV301を回して適当な色の濃さにする
5）各チャンネルを受信して，極端な色の濃さにならないことを確認する

SIF調整

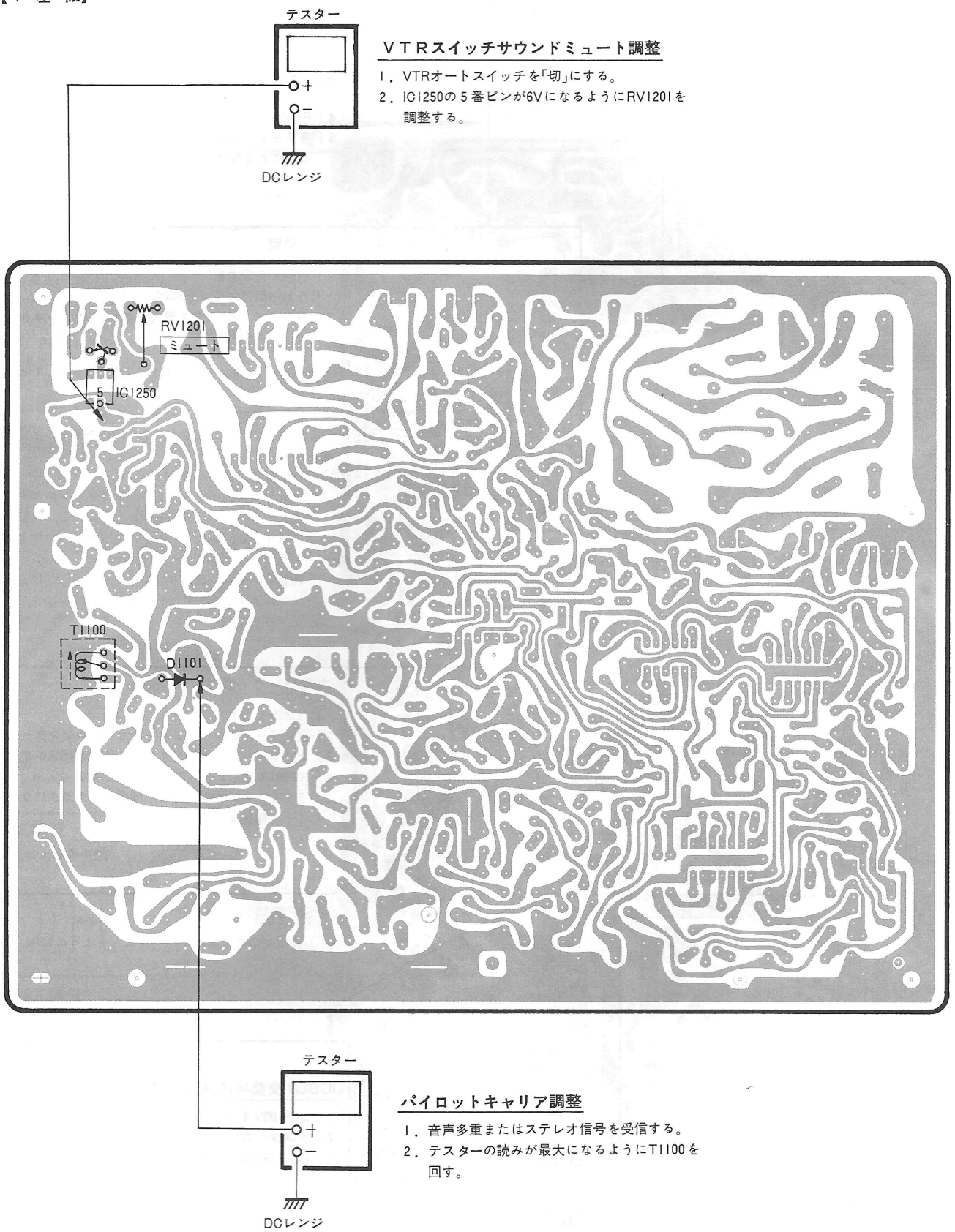
1）音量が最大でなおかつ明瞭になるようにT206，T207を回す。

IC601交換時の注意

1．AC 100Vをセットに加える。
2．テスターの読みがDC 116V以下であることを確認する。
3．DC 116V以上の場合は，IC601を交換し確認をし直す。



【Y 基 板】



ＶＴＲスイッチサウンドミュート調整

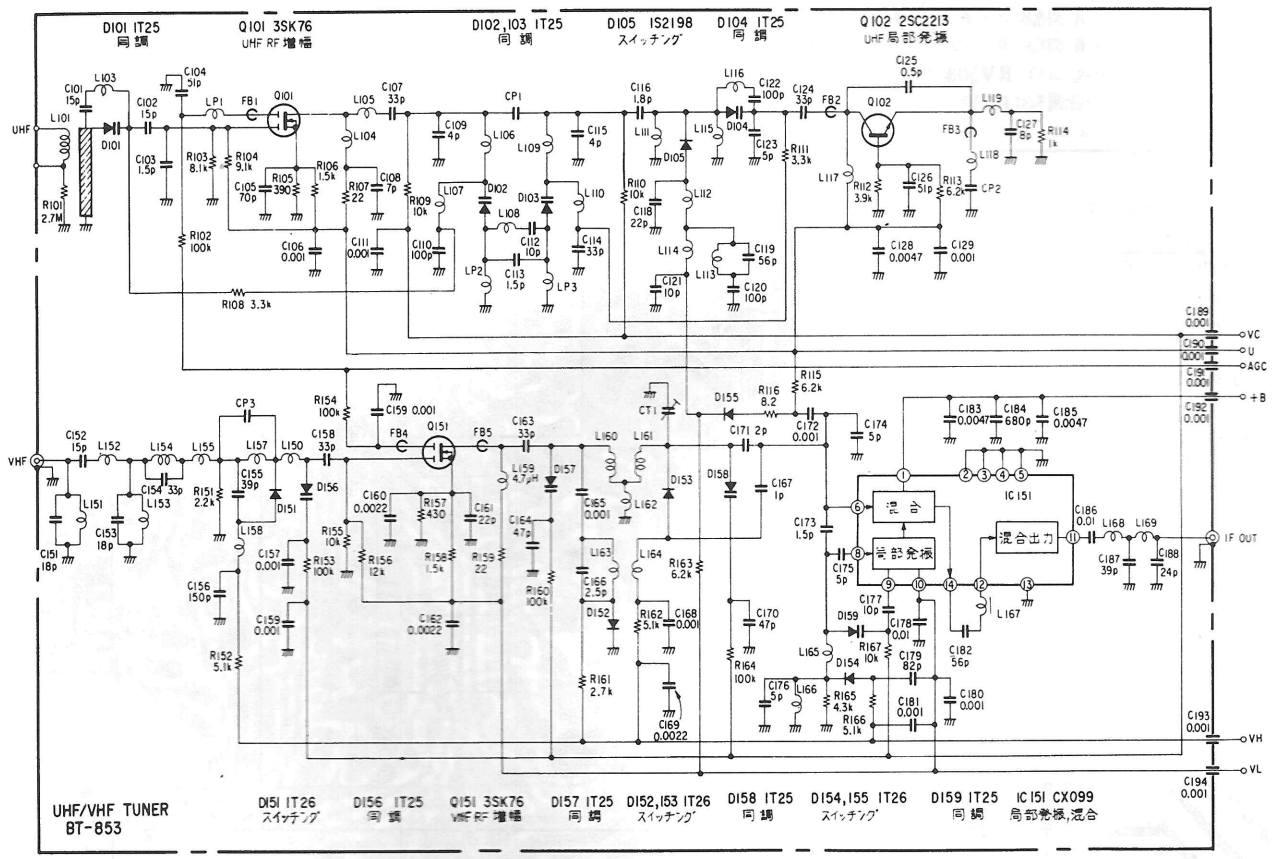
1．VTRオートスイッチを「切」にする。
2．IC1250の５番ピンが6VになるようにRV1201を調整する。

パイロットキャリア調整

1．音声多重またはステレオ信号を受信する。
2．テスターの読みが最大になるようにT1100を回す。

【チューナー回路図】

●BT-853



プリント図

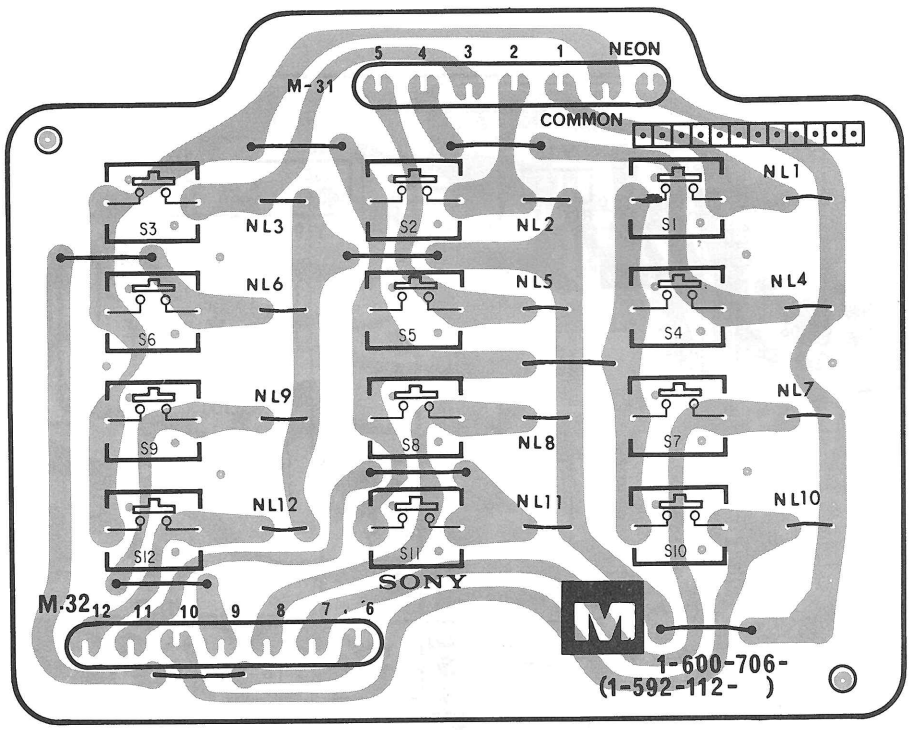
・●—●印はプリント基板のメッキ線ジャンパー。

〔赤，緑，青出力〕 C 〔選局スイッチ〕 M

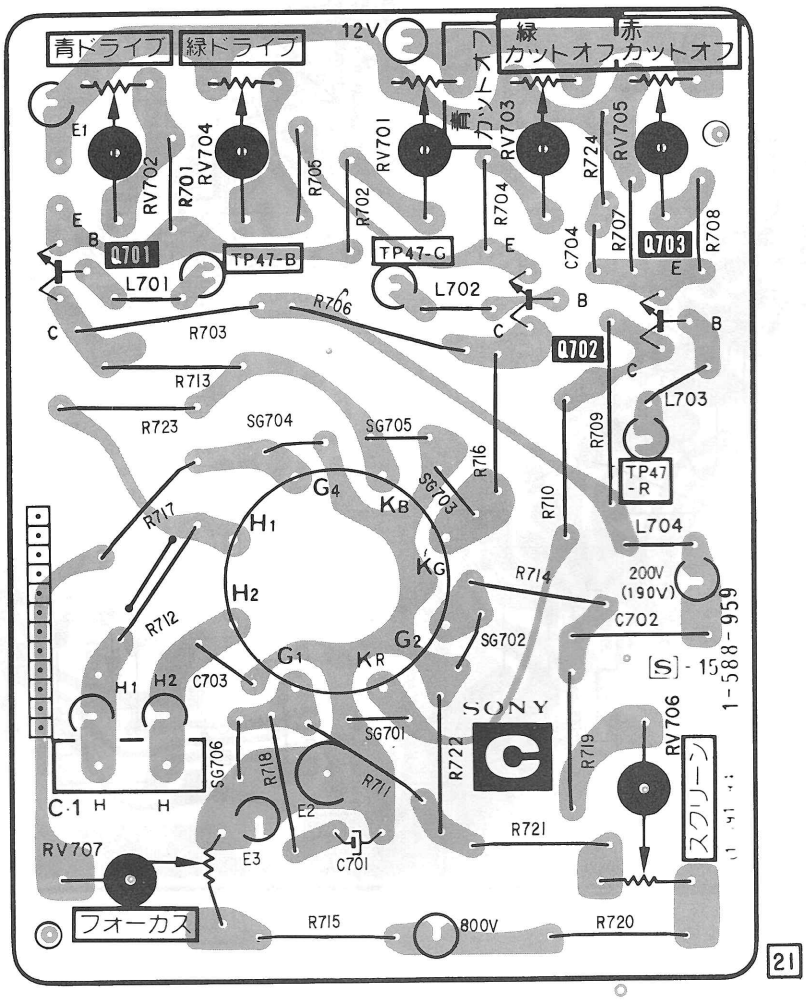
A B C D

1 2 3 4 5

【M 基 板】

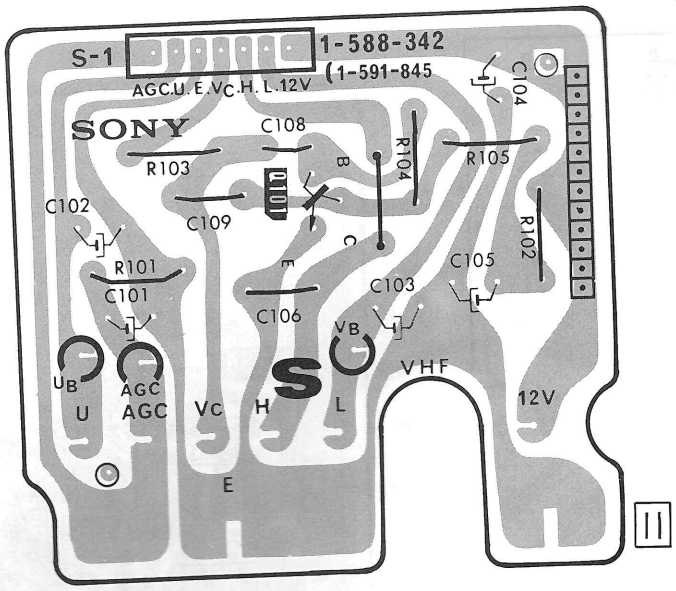


【C 基 板】

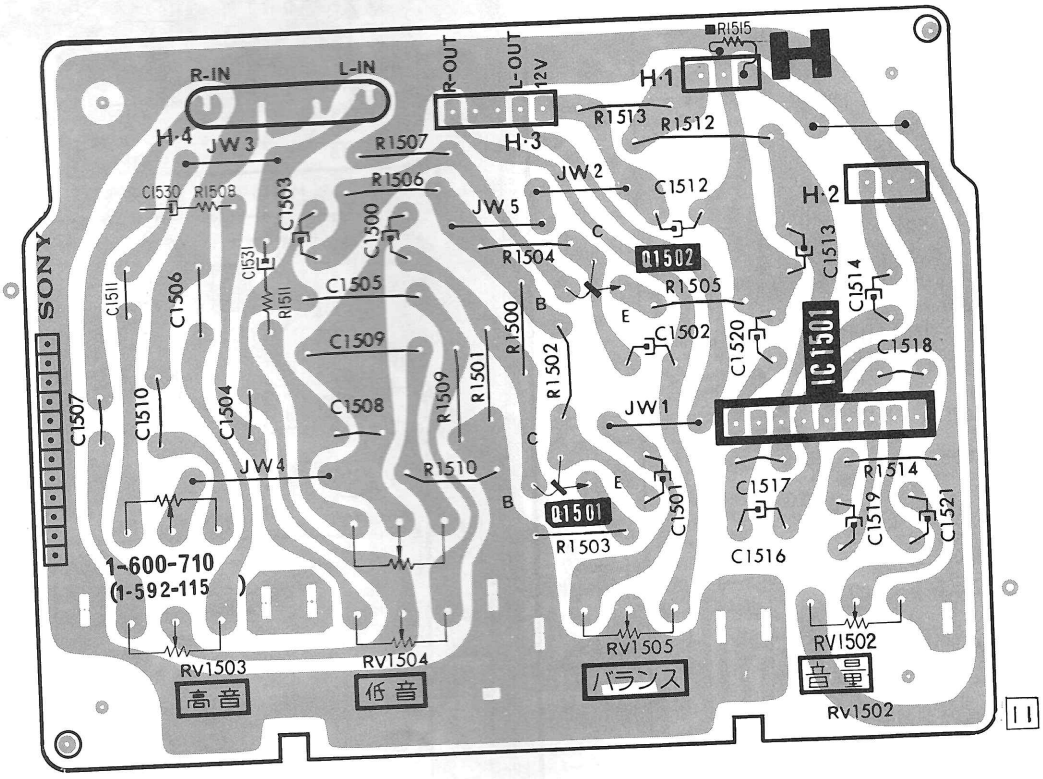


S 〔チューナー〕 H 〔ユーザーコントロール〕 OD 〔オプションダミー〕

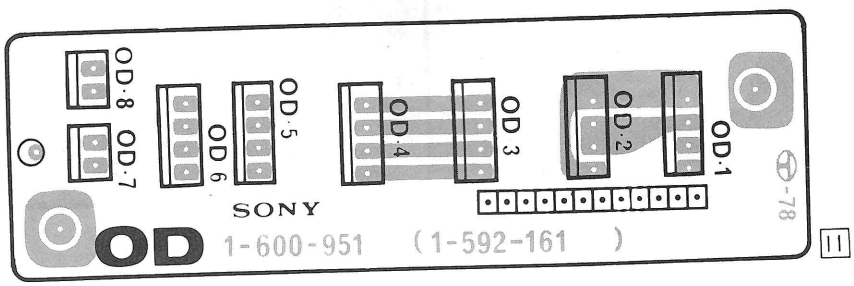
【S 基 板】



【H 基 板】

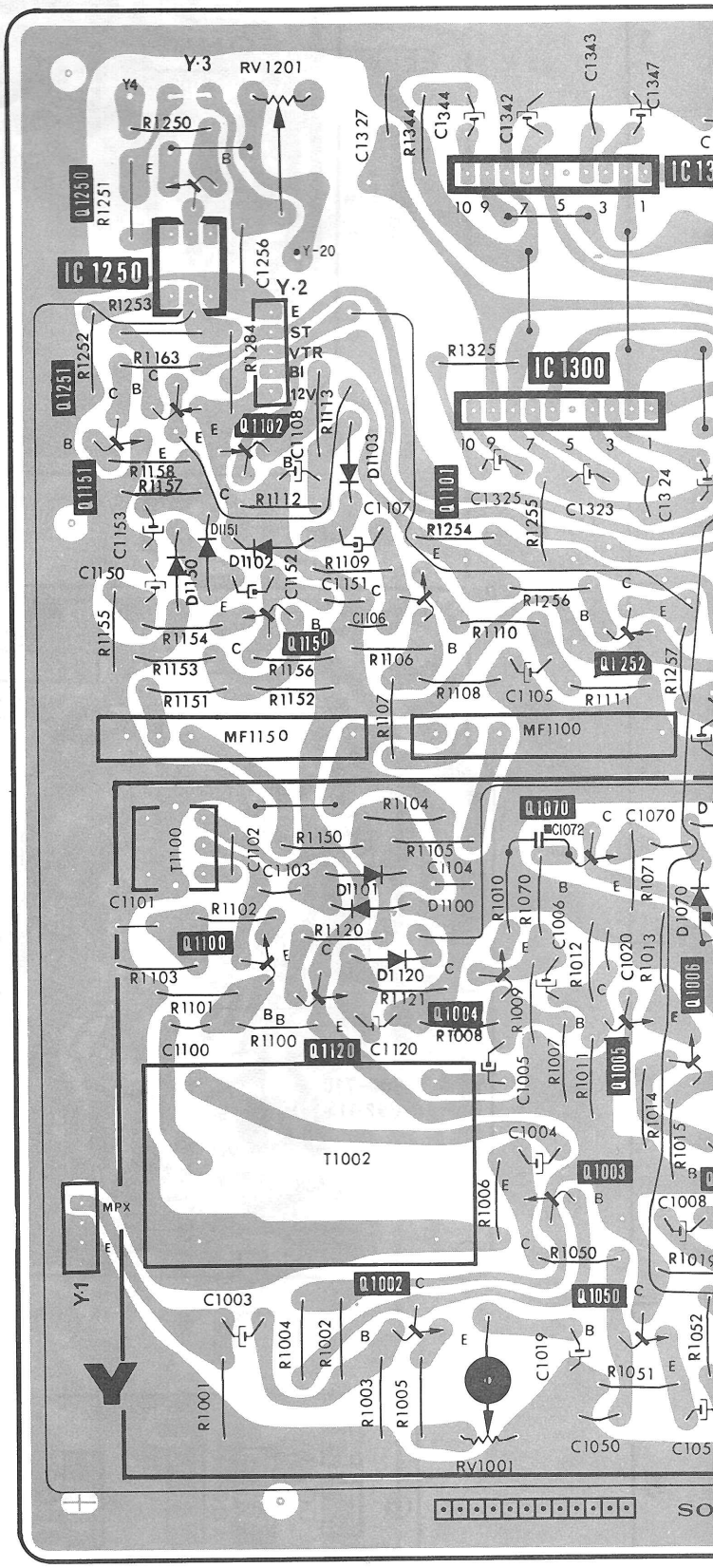


【OD基板】



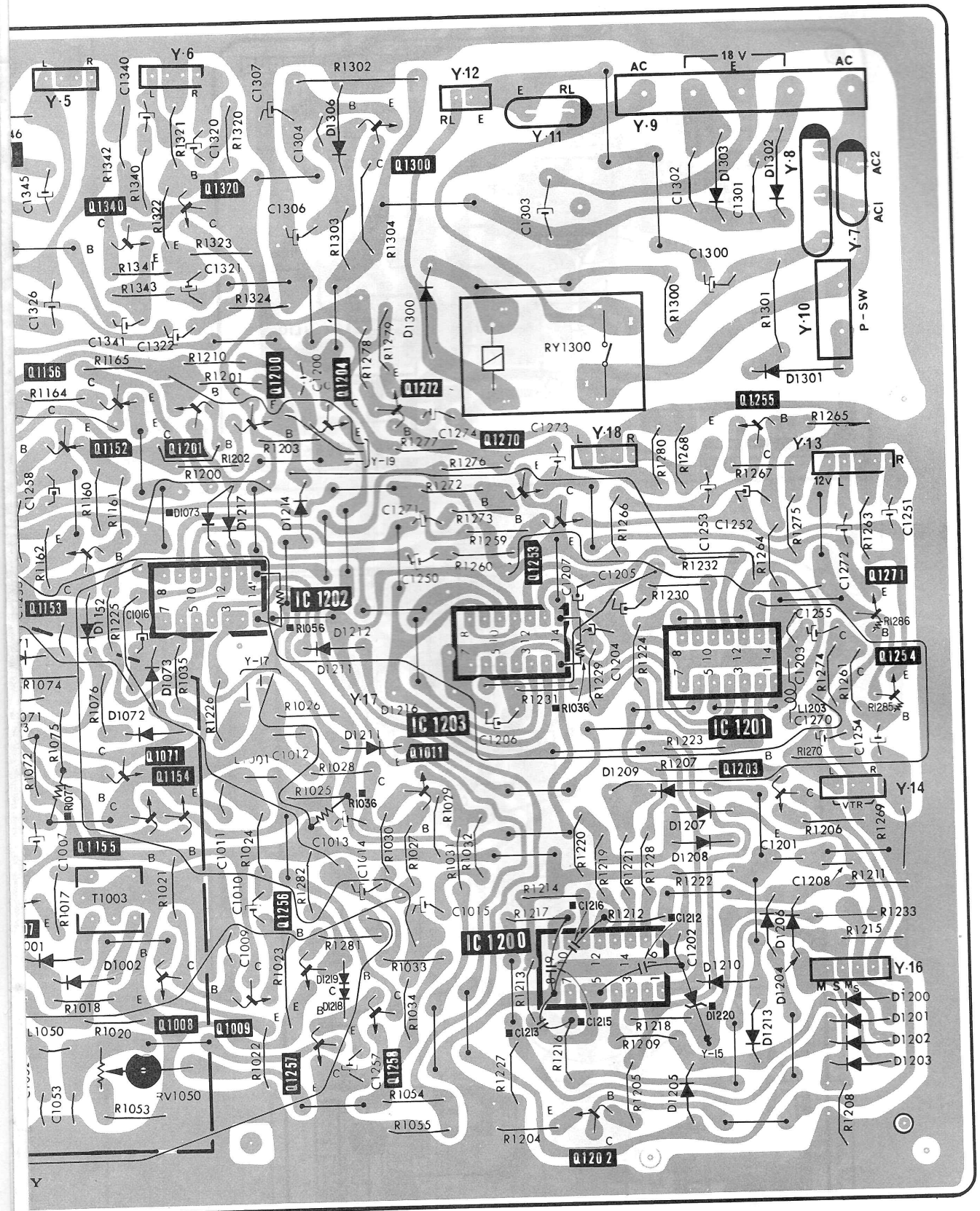
【Y 基 板】

IC, Q	D	A D J
		RV1201
1300		
IC1301	1306	
1250		
1320	1302	
	1303	
IC1250		
1340		
	1300	
IC1300		
1251		
1102	1103	
1151	1301	
1156		
1201		
1200		
1272	1151	
1204	1102	
1152 1255	1150	
1101		
1150		
1270	1214	
1252		
1253	1217	
1153	1073	
IC1202	1152	
1271	1212	
IC1203	1211	
IC1201	1071	
1070		
1254	1101	
	1100	
1100	1070	
1004	1072	
1071	1120	
1120	1211	
1005	1209	
1203		
1154	1207	
1155		
1011	1208	
1006		
1007		
	1206	
	1204	
1003		
1256	1001	
IC1200	1002	
1008	1210	
1258	1200	
1009	1201	
1002	1219 1213	
1257	1218 1202	RV1050
1050	1203	RV1001
	1205	
1202		
IC, Q	D	A D J



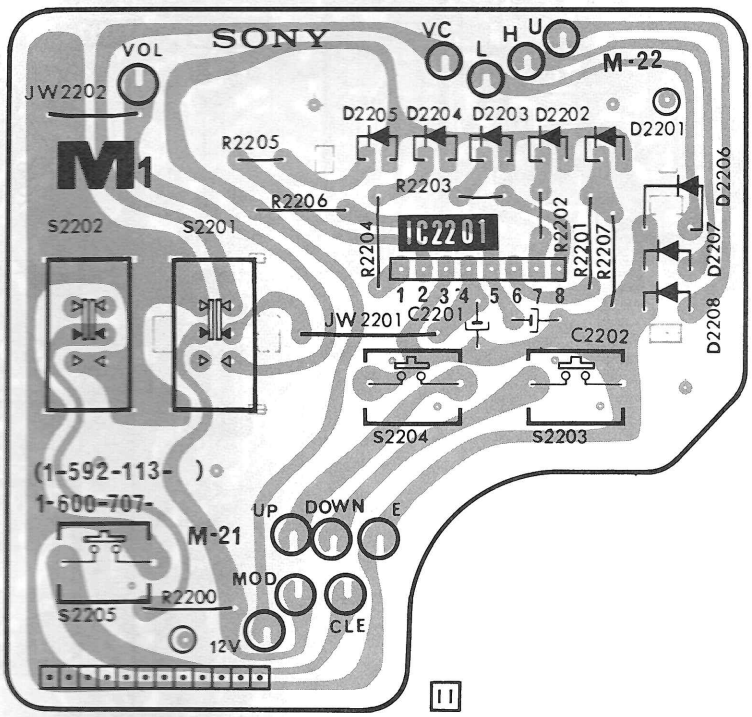
Y 〔音声多重〕

D E F G

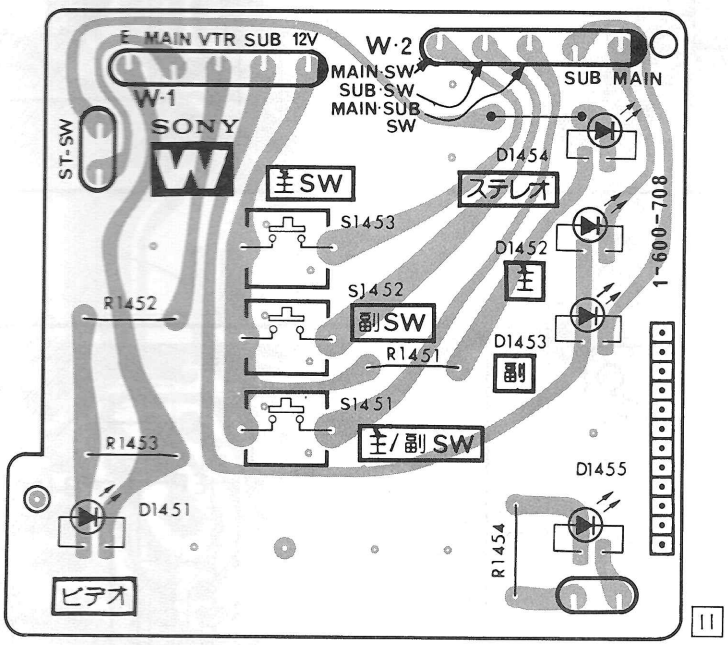

Y-5
Y-6
Y-12
Y-11
Y-9
Y-8
Y-7
Y-10
P-SW
RY1300
D1301
Y-18
Y-13
Y-19
Y-17
Y-15
Y-14
Y-16
IC 1202
IC 1203
IC 1201
IC 1200
Q1300
Q1320
Q1340
Q1200
Q1204
Q1272
Q1270
Q1255
Q1253
Q1271
Q1254
Q1203
Q1202
Q1011
Q1071
Q1154
Q1155
Q1256
Q1008
Q1009
Q1257
Q1258
Q1152
Q1201
Q1153
Q1156
T1003
RV1050
D1200
D1201
D1202
D1203

〔スイッチインジケーター〕 M1 〔音声モード表示〕 W

【M 1 基板】



【W 基 板】



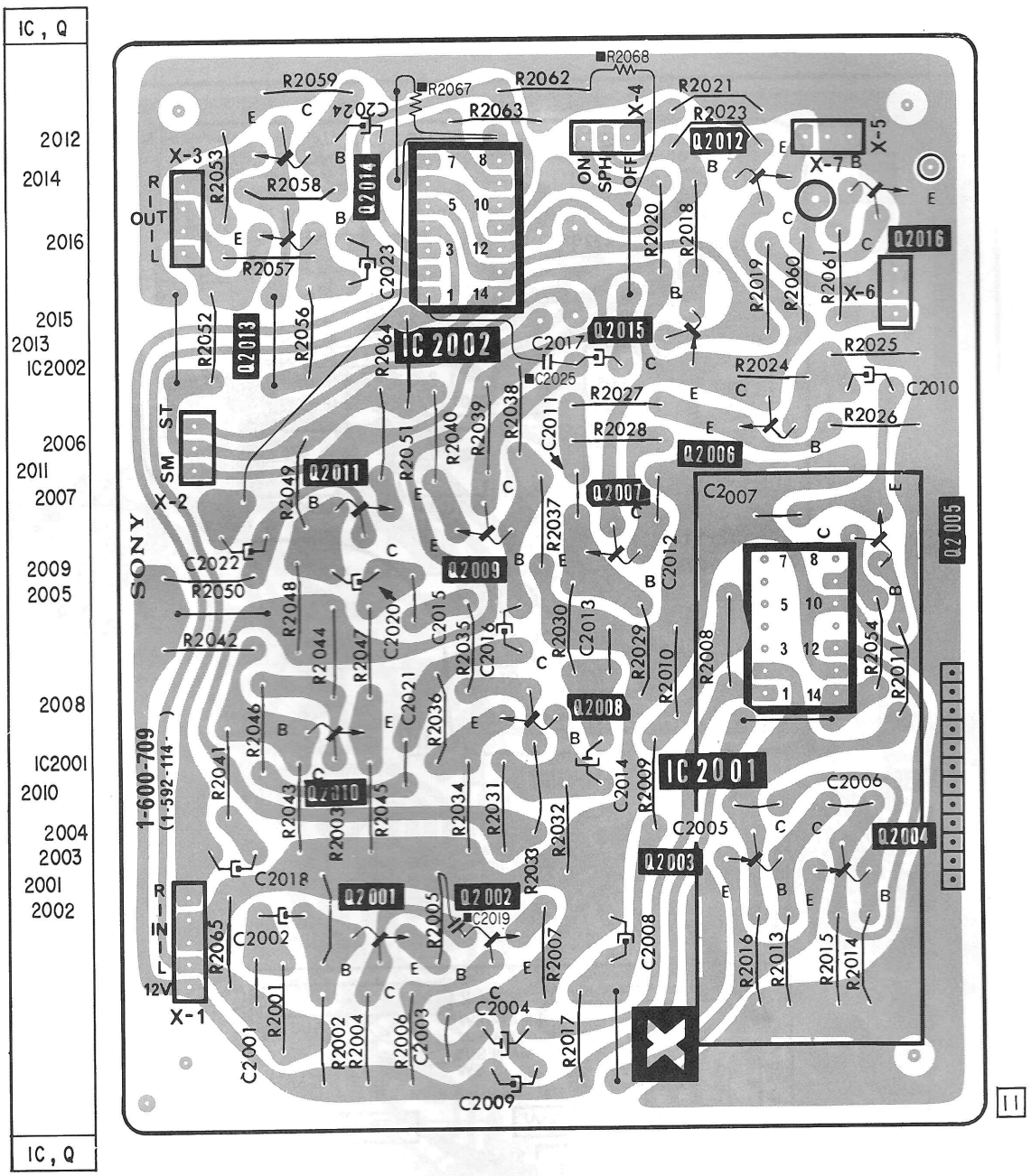
KV-16SX1

SCC-229A-A

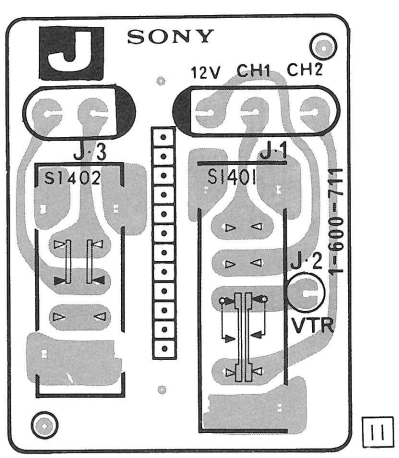
X 〔スペースホニック〕 **J** 〔オートスイッチ〕 **Z** 〔ジャック〕

A B C D

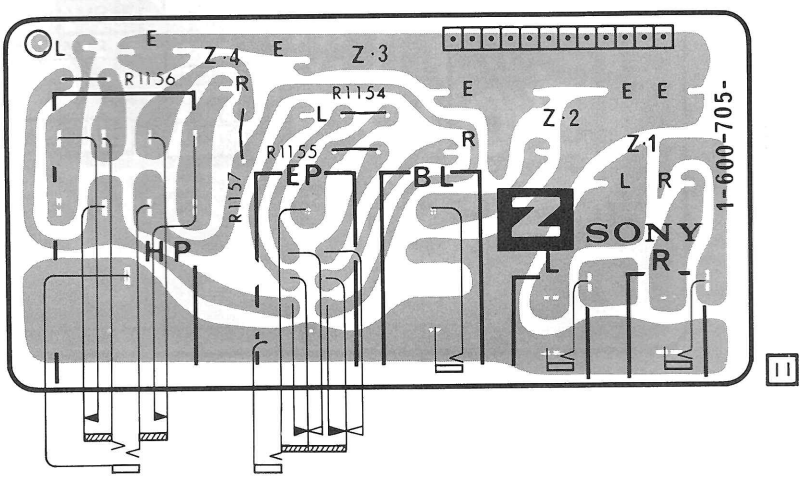
【X 基 板】



【J 基 板】

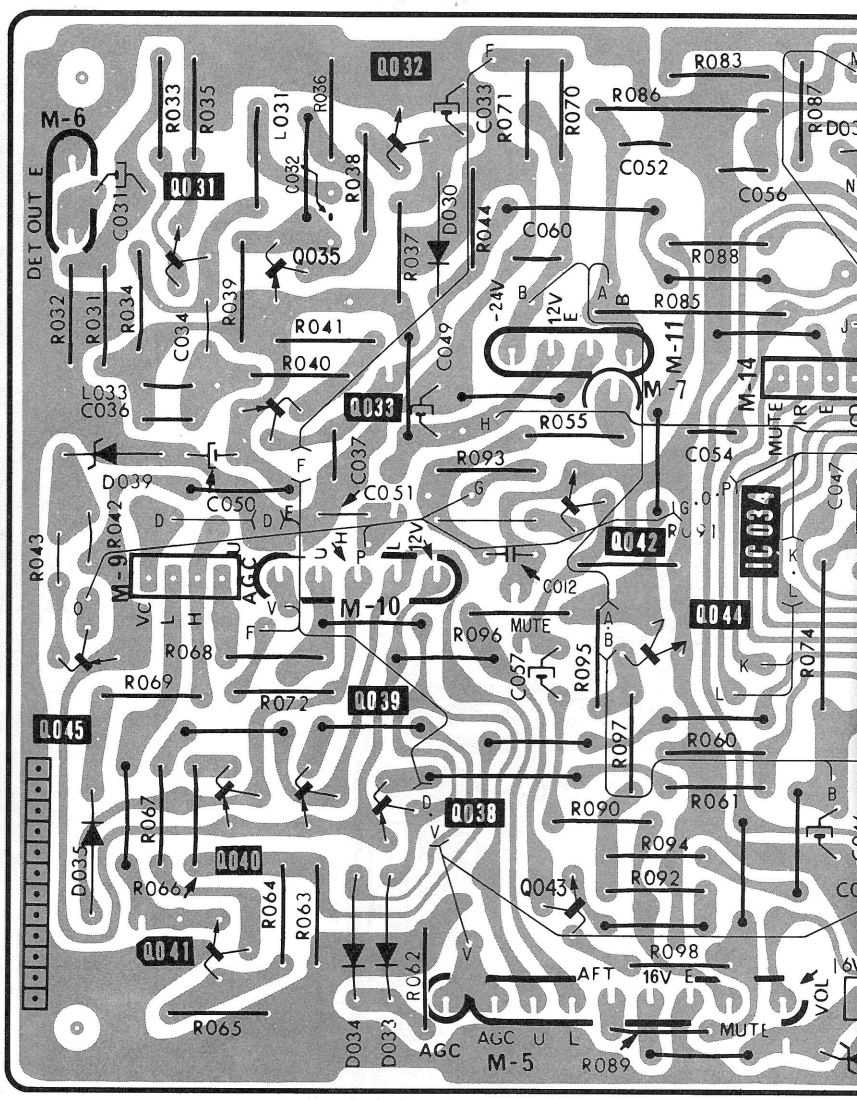


【Z 基 板】



【MB基板】

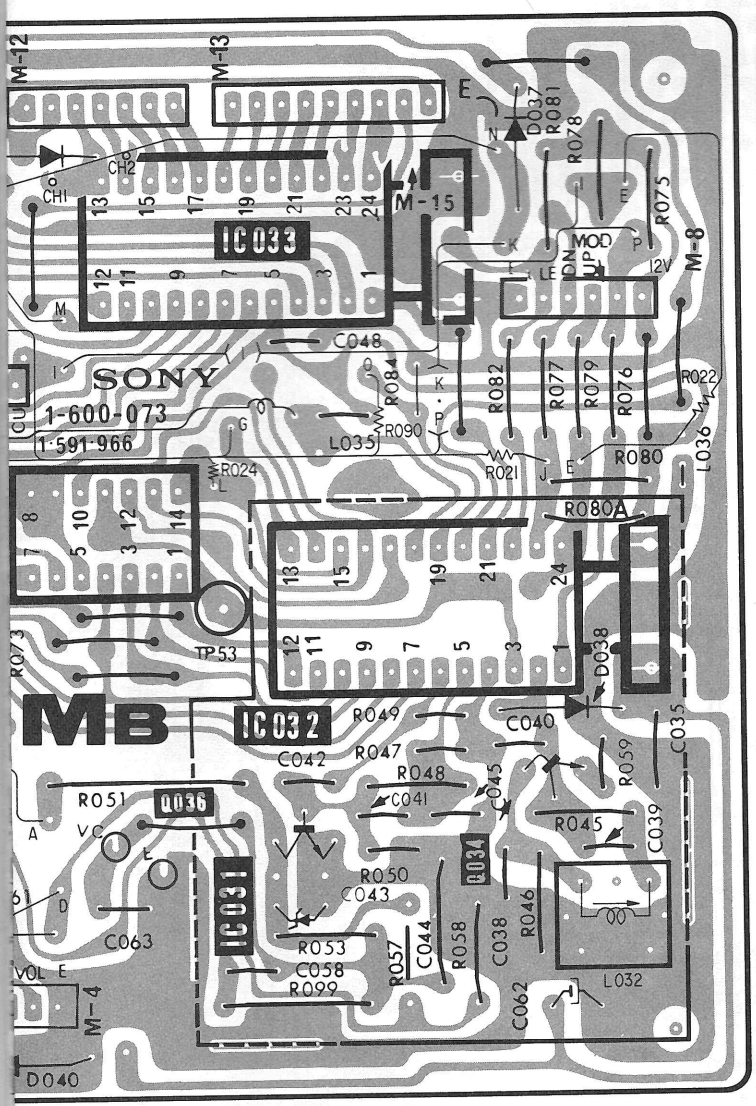
IC , Q	045	031 041	040	035	033 039	032	038	043	042	044	IC034
D	035 039				034 033	030	041				040



MB

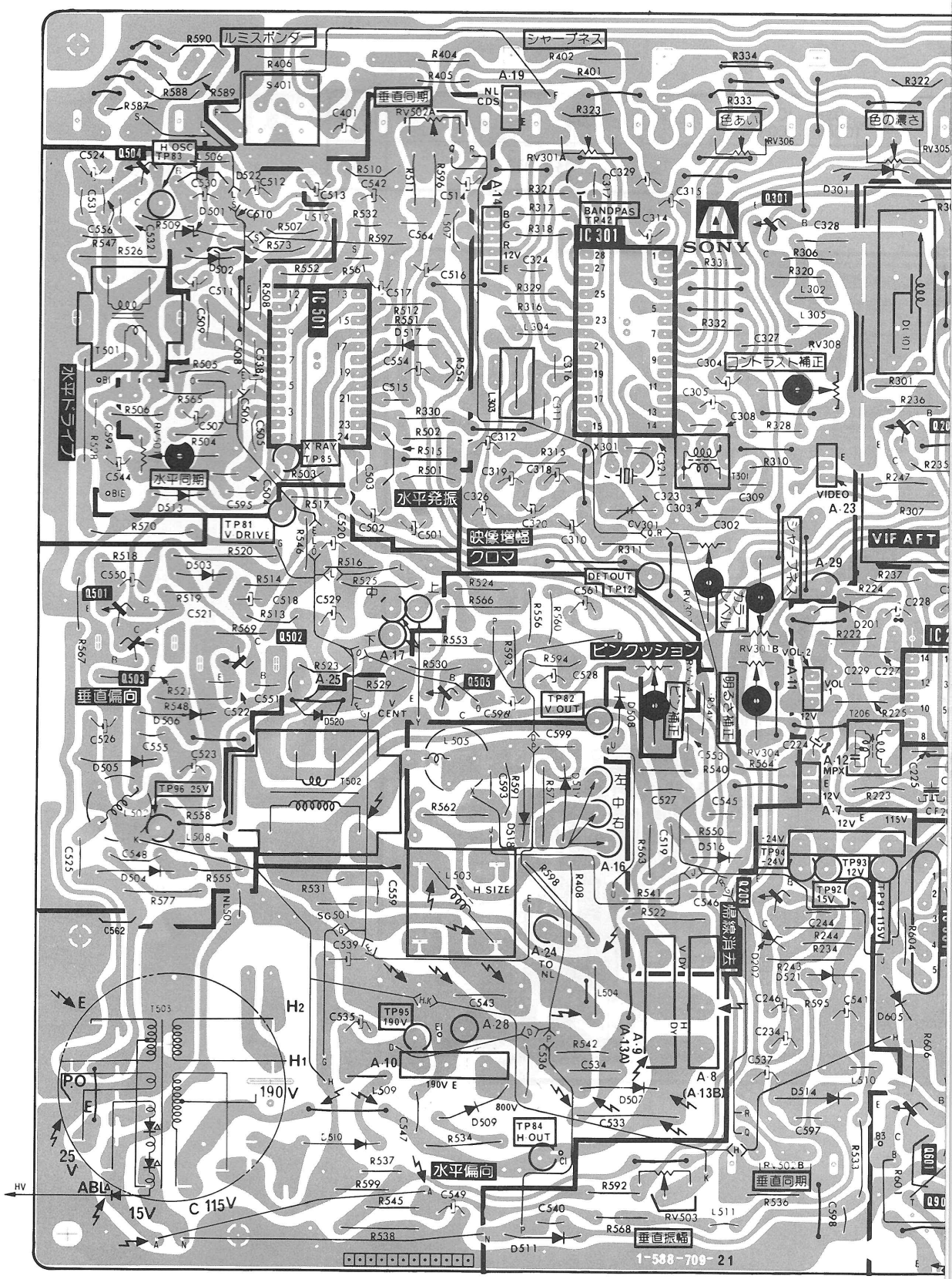
D	E	F	

036 IC033 IC031 IC032	034	IC, Q
036	037 038	D



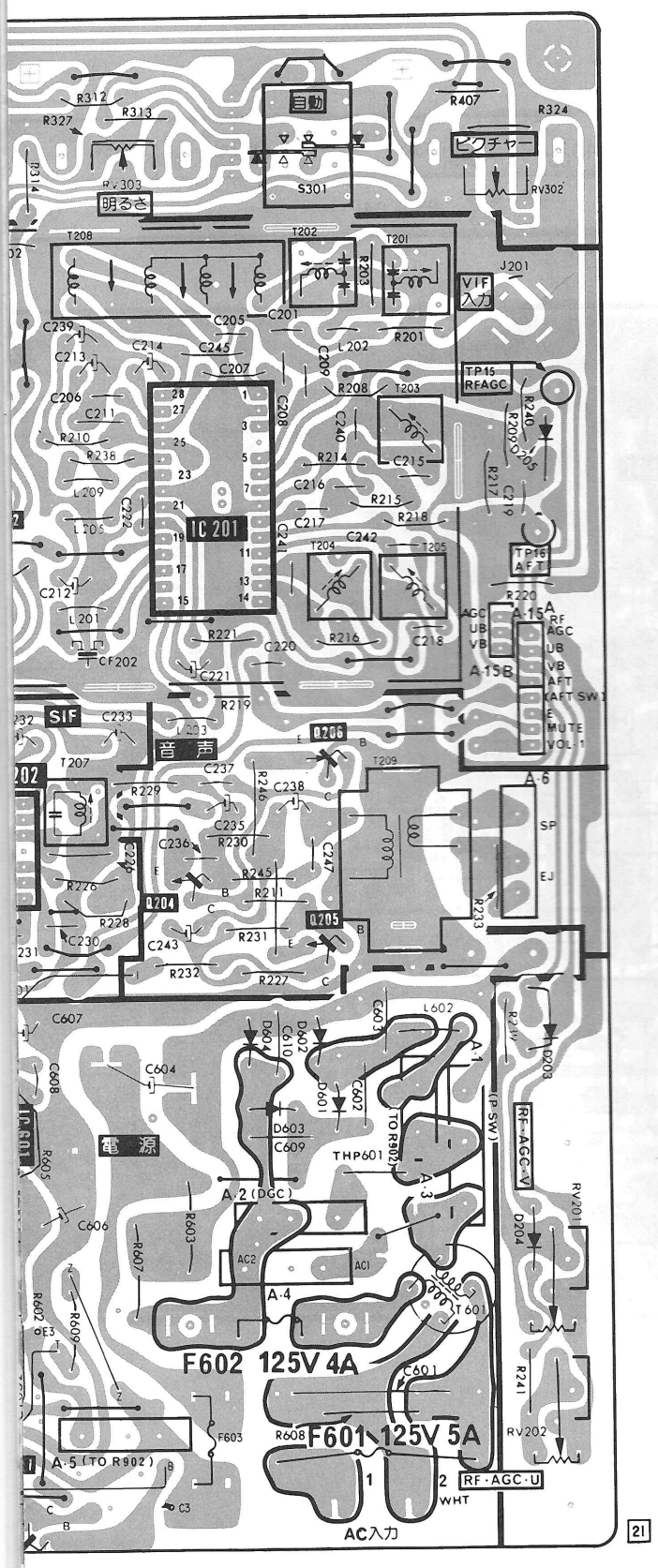
13

【A 基 板】


ルミスポンダー
シャープネス
垂直同期
色あい
色の濃さ
H OSC
TP83
Q504
IC 501
IC 301
BANDPAS
TP42
SONY
コントラスト補正
水平ドライブ
X RAY
TP85
水平同期
水平発振
映像増幅
クロマ
TP81
V DRIVE
DET OUT
TP12
VIDEO
A·23
VIF AFT
ビンクッション
TP82
V OUT
垂直偏向
TP95 25V
TP95 190V
TP84
H OUT
H SIZE
TP94 -24V
TP93 12V
TP92 15V
TP91 115V
MPX
A·12
A·7
A·8
(A·13B)
A·9
(A·13A)
A·10
A·16
A·17
A·24
TO NL
A·25
A·28
A·29
P.O
190V
25V
ABL
15V
C 115V
H2
H1
E
HV
水平偏向
垂直同期
垂直振幅
1-588-709-21

A 〔信号，偏向，電源〕

E F



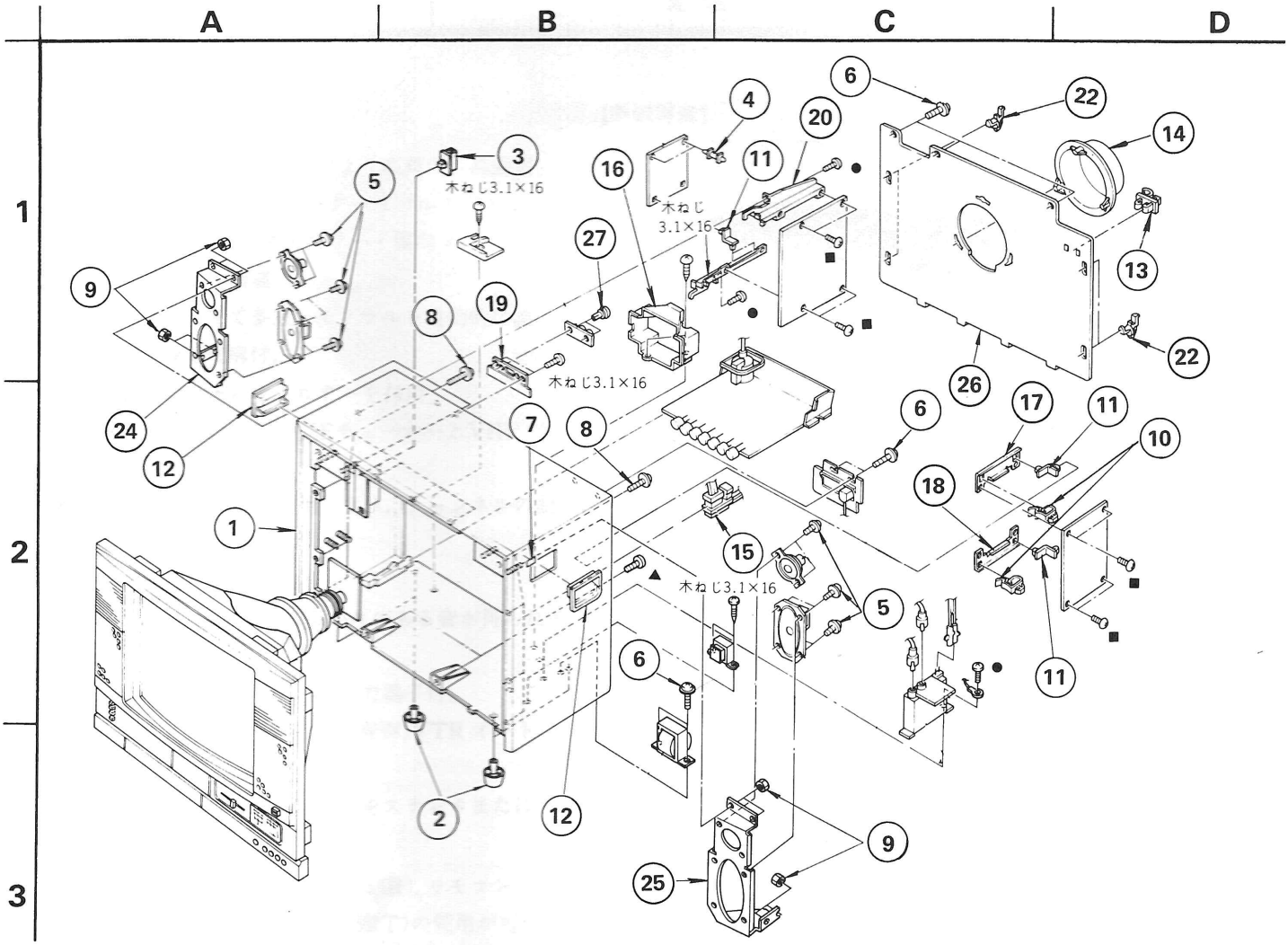
Q',IC	D	調整素子
401		
504	301 522	
301	501 502	
IC301	517	
IC501	205	RV308
IC201		
202		RV501
	513	
		RV307
	503	
501	201	
206 503		RV301
502		RV304 RV504
IC202	520	
505	508	
204	506	
	505	
205	519	
	518	
	602	
	516	
	604,203	
	504	
203	601	
	603	
IC601	202	
	521	
	605	
	204	
	514	RV201
601	507 509	
	510	
		RV202
	511	
901		
Q, IC	D	調整素子

【分 解 図】

⚠および　印の部品は，安全性を維持するために，重要な部品です。従って交換時は，必ず指定の部品を使用して下さい。

●組立部品の構成部品は，備考欄に照合番号で示します。

●㊟の部品は在庫しません。



照合番号	部品コード	品名	定価	備考	照合番号	部品コード	品名	定価	備考
1	X-4338-205-0	キャビネット組立	Y	2, 3, 10, 11	15	4-333-622-00	電源コードホルダー	B	⚠
				12, 16, 19, 23	16	4-336-934-00	ユニットキャッチャー	D	㊟
2	X-4338-207-0	足組立	C		17	4-337-806-00	MB基板ステー(U)	A	㊟
3	3-642-310-00	基板ホルダー	A	㊟	18	〃 -807-00	MB基板ステー(D)	A	㊟
4	3-659-619-11	基板ホルダー	A	㊟	19	〃 -813-00	音声入力ブラケット	A	㊟
5	3-701-810-01	端子ねじ	A		20	〃 -818-00	Y基板ステー(U)	C	㊟
6	〃 -910-00	特殊ねじ	A		21	〃 -819-00	Y基板ステー(D)	C	㊟
7	3-703-280-01	時期表示ラベル	A		22	〃 -837-00	裏板フック	A	
8	4-304-095-00	TA, フランジ付4×25	A		23	〃 -848-01	サービスブラケット	A	㊟
9	〃 -749-00	フランジナット	A		24	4-338-210-00	スピーカープレート(左)	J	㊟
10	4-309-380-00	基板ホルダー	A	㊟	25	〃 -211-00	スピーカープレート(右)	J	㊟
11	4-313-732-00	基板ヒンジクリップ	A	㊟	26	〃 -216-00	裏 板	G	
12	4-329-143-11	取 手	D		27	4-812-134-00	ナイロンリベット 3.5φ	A	
13	〃 -439-00	フィーダークランパー	A						
14	4-330-909-00	ネックカバー	F						

●図中の記号はねじ，ナット類を示し，ねじ類で特に表示のないものは⊕，TAはタッピングを示します。

■：TA, BV3×8　▲：TA, BV4×12　●：TA, BV3×12

9-962-520-01

ソニー株式会社 ©1979
テレビ・ビデオ事業本部
7910469-1